

官報號外

明治三十二年三月七日 火曜日

印 刷 局

○第十三回 帝國議會衆議院議事速記録第四十二號

明治三十二年三月六日(月曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第四十一號 明治三十二年三月六日

午後一時開議

第一 登錄稅法中改正法律案(政府提出貴)

第二 府縣制改正法律案(政府提出貴)

第三 郡制改正法律案(政府提出貴)

第四 教育基金特別會計法案(政府提出貴)

第五 軍艦水雷艇補充基金特別會計法案(政府提出貴)

第六 災害準備基金特別會計法案(政府提出貴)

第七 罷災救助基金法案(政府提出貴)

第八 領事官ノ職務ニ關スル法律案(政府提出貴)

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 明治二十三年法律第九十號中改正法律案(政府提出貴)

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 明治二十三年法律第九十一號中改正法律案(政府提出貴)

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 明治二十九年法律第十三號中改正法律案(政府提出貴)

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 小學校修身書ニ關スル建議案(安藤龜太郎君)

第十七 工藝學校設置ノ建議案(杉田定一君)

第十八 裁判所構成法中改正法律案(花井卓藏君)

第十九 明治二十三年法律第七號重罪控訴豫納金規則廢止法律案(山田武君)

第二十 明治十八年第二號布告輕罪控訴規則廢止法律案(山田武君)

(六名提出)

第二十一 上告豫納金廢止法律案(山田武君)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

安川繁成君ヨリ會計検査院ニ關シ、井上角五郎君山本幸彦君杉田定一君多

田作兵衛君重岡薰五郎君ヨリ大藏大臣ノ演説ニ關シ、田中正造君安川繁成

君加藤政之助君長谷場純孝君中島祐八君稻垣示君橋本久太郎君大津淳一郎

君武市彰一君石原半右衛門君淺香孝克孝君山田武君高木正年君安部井磐根君

松島廉作君寺田彦太郎君四宮有信君堀越寛介君ヨリ第十三議會足尾銅山礦

毒事變ニ關シ再質問ヲ提出セラレタリ

特別委員長及理事左ノ通常選セラレタリ

裁判所設置及管轄區域變更ニ關スル法律案外一件

委員長 製絲事業ニ關スル建議案

委員長 橋坂行三君

議院法中改正法律案

委員長 神輶知常君

巴里萬國大博覽會ニ日本清酒舗開設ニ付特ニ當業者ヲ保護スルノ建議

委員長 小田爲綱君

鮭鱈養殖事業ニ關スル建議案

委員長 根本正君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治三十年四月十二日官報ヲ以テ會計検査院ノ議決ヲ公表シタルハ當時

該院長カ專斷ヲ以テ臨時軍事費ニ關スル核算ノ成績ヲ上奏セシ自己ノ非

行フ彌縫スルノ一手段タルニ外ナラズシテ名ハ法律ノ解釋タルモ實ハ法

律ニ意旨ナキ條項ヲ附加シタルモノニシテ乃チ立法ノ御大權及帝國議會

ノ權能ヲ侵犯シタルモノナリ然ルニ政府ハ之ニ向テ何等ノ處分ヲ爲サ

ルハ如何

前項若シ處分ノ意思ナシトセハ政府ハ該決議ヲ是認シタルモノナルヤ

第二十一 明治十九年勅令第四十六號罰金及追徵ニ係ル
上告豫納金廢止法律案(山田武君)

第一讀會

第二十二 官國幣社經費復舊建議案(大津淳一郎君)
明治二十三年勅令第二百十五號小學校令中改

正建議案(西村淳義君)

第一讀會

第二十三 官國幣社經費復舊建議案(大津淳一郎君)
明治二十三年勅令第二百十五號小學校令中改

正建議案(西村淳義君)

第一讀會

第二

明治三十年五月二十五日政府ハ會計検査院部長安川繁成検査官吉田市十郎持田直澄關宗喜ヲ明治二十九年法律第九十一條ニヨリ退官ヲ命シタリ然ルニ該法律ハ身體若シクハ精神ノ衰弱ニヨリ職務ヲ執ル能ハサル者ニ限リ適用スヘキモノタリ而シテ該退官者ハ孰レモ心身共ニ健全ニシテ曾テ職務ヲ曠廢セシコトナク現ニ退官後直チニ就官又ハ公職ニ舉ケラレ在ルヲ以テ知ルヘキナリ右ハ當該院長カ前項ノ如ク專斷上奏ヲ爲シタルヤ安川等ハ法律ニ依リ之ヲ非認抗議シタルノ故ヲ以テ院長等ノ厭苦スル所トナリ誣ニルニ狂人ヲ以テシ強テ該法律ニ曲當之ヲ排斥シタル事實ニシテ其顛末ハ當時安川等ヨリ政府ニ對シ具申シ在ルニモ拘ラス政府ハ何故事實ニ反シ法律ノ命セサル議決ヲ執奏シ之ニ退官ヲ命シタルヤトスル乎詳細ナル答辯ヲ要ス

明治三十二年三月六日

提出者 安川繁成
賛成者 藤澤幾之輔
外二十四名

大藏大臣ノ演説ニ就キ質問
本期帝國議會ハ今ヤ既ニ歲入補填ノ各案ヲ議了シタル本院提出ノ府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律ヲ實施スルモ大ニ新事業ヲ起シ歲出額ヲ増スモノアルニアラサレハ之カ爲メニ別ニ財源ヲ求ムルヲ要セサルヤ明ラカナリトス
然ルニ本月三日本院ニ於テ該法律案ノ議事ニ際シ大藏大臣伯爵松方正義君ハ現在ノ財政ニテハ之ヲ支辨スルノ餘裕ナシト述へ且ツ曰ク併シ三十四年一度ノ歲計ニ於テハ全額ノ仕拂ニナリマシテ五百萬餘リノ金額デアリマシテ見マスルト(中略)新ニ財源ヲ求ルヨリ外ニ途ハナイト存シマス云々
是レ本員等ノ信スル所ト相反スルカ如シト雖モ畢竟スルニ同大臣ハ今後各種財源ノ年々増殖スヘキ見込アルニ之ヲ豫算ノ外ニ置キタルヨリ此說アルニ至リタルモノナラン果シテ然ルヤ否

右質問ス

明治三十二年三月六日

提出者 井上角五郎
贊成者 杉田定一
重岡薰五郎
松田正久
外三十三名

第十三議會足尾銅山鑛毒事變再質問書

明治三十年三月八日會計検査院長渡邊昇カ二十七八年ノ戰役費決算ニ於テ該院法第十條第十五條ヲ無視シ同院總會議ヲ經ス其検査ノ成蹟ニ關シ上奏ヲ爲シタルヤ同院部長安川繁成検査官吉田市十郎外二名ハ法律ノ擁護ヲ以テ其非行ニ抗議シタルモ却テ之ヲ不當トシ同年四月十日同院總會議ヲ以テ本質問第一項ノ如ク名ヲ法律ノ解釋ニ籍リ其實院長私擅上奏ノ非行ヲ庇護スル議決ヲ爲シ其責ヲ逃避シタルノミナラス而カモ之ヲ同月十二日ノ官報ニ登載公表シテ當時輿論ノ攻擊ヲ鎮壓セント試ミタリ

抑該決議タルヤ嚴正ナル院法第十條第十五條ノ規定ヲ抹殺スル不當ノ法按ニシテ其行爲ニ至テハ憲法第五條第六條ニ關スル御大權及ヒ同第三十七條帝國議會ノ權能ヲ侵犯スルモノニシテ若シ之ヲ寬假セハ法文ニ異義ナキ何等ノ新條項ト雖モ立法府ノ制度ヲ躉タス現法解釋ノ名ヲ以テ自在ノ作用ヲ恣ニスルヲ得ヘク遂ニハ國家ノ秩序ヲ壞敗シ其危險實ニ言フヘカラサルモノアラン是レ第一項ノ質問ヲ要スル所以ナリ前項不法上奏ノ事アルヤ安川等ハ法律擁護ニ職守ヲ恪ミ彼ノ非行ニ抗シテ相下ラス爰ニ於テ該院長ハ院内朋黨ヲ比周シ倍々其非ヲ遂行セントシ種々辭柄ヲ設ケ終ニ安川等ヲ誣ニルニ狂人ヲ以テシ身心健全現ニ退官當日マテ勤勉シアル者ニ中ツルニ二十九年法律第九十一號職務ヲ執ル能ハサルモノ、條項ヲ以テシ五月五日密カニ形式缺欠ノ會議ヲ開キ自黨ノ手ニ藉リ之ヲ議決シ是ニ於テ同月二十五日政府ハ前顯事實ニ反シ法律ノ命セサル退官ヲ執行シタリ

當時安川等ハ院長一派カ事實ヲ誣ヒ其眞ヲ掩フノ議決ヲ爲シタルヤ其顛末ヲ文書ニ裁シ五月六日内閣總理大臣ニ呈出シ其副本ヲ各國務大臣ニ呈出シ

二

理由

明治三十年三月八日會計検査院長渡邊昇カ二十七八年ノ戰役費決算ニ於テ該院法第十條第十五條ヲ無視シ同院總會議ヲ經ス其検査ノ成蹟ニ關シ上奏ヲ爲シタルヤ同院部長安川繁成検査官吉田市十郎外二名ハ法律ノ擁護ヲ以テ其非行ニ抗議シタルモ却テ之ヲ不當トシ同年四月十日同院總會議ヲ以テ本質問第一項ノ如ク名ヲ法律ノ解釋ニ籍リ其實院長私擅上奏ノ非行ヲ庇護スル議決ヲ爲シ其責ヲ逃避シタルノミナラス而カモ之ヲ同月十二日ノ官報ニ登載公表シテ當時輿論ノ攻擊ヲ鎮壓セント試ミタリ

抑該決議タルヤ嚴正ナル院法第十條第十五條ノ規定ヲ抹殺スル不當ノ法按ニシテ其行爲ニ至テハ憲法第五條第六條ニ關スル御大權及ヒ同第三十七條帝國議會ノ權能ヲ侵犯スルモノニシテ若シ之ヲ寬假セハ法文ニ異義ナキ何等ノ新條項ト雖モ立法府ノ制度ヲ躉タス現法解釋ノ名ヲ以テ自在ノ作用ヲ恣ニスルヲ得ヘク遂ニハ國家ノ秩序ヲ壞敗シ其危險實ニ言フヘカラサルモノアラン是レ第一項ノ質問ヲ要スル所以ナリ前項不法上奏ノ事アルヤ安川等ハ法律擁護ニ職守ヲ恪ミ彼ノ非行ニ抗シテ相下ラス爰ニ於テ該院長ハ院内朋黨ヲ比周シ倍々其非ヲ遂行セントシ種々辭柄ヲ設ケ終ニ安川等ヲ誣ニルニ狂人ヲ以テシ身心健全現ニ退官當日マテ勤勉シアル者ニ中ツルニ二十九年法律第九十一號職務ヲ執ル能ハサルモノ、條項ヲ以テシ五月五日密カニ形式缺欠ノ會議ヲ開キ自黨ノ手ニ藉リ之ヲ議決シ是ニ於テ同月二十五日政府ハ前顯事實ニ反シ法律ノ命セサル退官ヲ執行シタリ

當時安川等ハ院長一派カ事實ヲ誣ヒ其眞ヲ掩フノ議決ヲ爲シタルヤ其顛末ヲ文書ニ裁シ五月六日内閣總理大臣ニ呈出シ其副本ヲ各國務大臣ニ呈出シ

明治三十年三月八日會計検査院長渡邊昇カ二十七八年ノ戰役費決算ニ於テ該院法第十條第十五條ヲ無視シ同院總會議ヲ經ス其検査ノ成蹟ニ關シ上奏ヲ爲シタルヤ同院部長安川繁成検査官吉田市十郎外二名ハ法律ノ擁護ヲ以テ其非行ニ抗議シタルモ却テ之ヲ不當トシ同年四月十日同院總會議ヲ以テ本質問第一項ノ如ク名ヲ法律ノ解釋ニ籍リ其實院長私擅上奏ノ非行ヲ庇護スル議決ヲ爲シ其責ヲ逃避シタルノミナラス而カモ之ヲ同月十二日ノ官報ニ登載公表シテ當時輿論ノ攻擊ヲ鎮壓セント試ミタリ

抑該決議タルヤ嚴正ナル院法第十條第十五條ノ規定ヲ抹殺スル不當ノ法按ニシテ其行爲ニ至テハ憲法第五條第六條ニ關スル御大權及ヒ同第三十七條帝國議會ノ權能ヲ侵犯スルモノニシテ若シ之ヲ寬假セハ法文ニ異義ナキ何等ノ新條項ト雖モ立法府ノ制度ヲ躉タス現法解釋ノ名ヲ以テ自在ノ作用ヲ恣ニスルヲ得ヘク遂ニハ國家ノ秩序ヲ壞敗シ其危險實ニ言フヘカラサルモノアラン是レ第一項ノ質問ヲ要スル所以ナリ前項不法上奏ノ事アルヤ安川等ハ法律擁護ニ職守ヲ恪ミ彼ノ非行ニ抗シテ相下ラス爰ニ於テ該院長ハ院内朋黨ヲ比周シ倍々其非ヲ遂行セントシ種々辭柄ヲ設ケ終ニ安川等ヲ誣ニルニ狂人ヲ以テシ身心健全現ニ退官當日マテ勤勉シアル者ニ中ツルニ二十九年法律第九十一號職務ヲ執ル能ハサルモノ、條項ヲ以テシ五月五日密カニ形式缺欠ノ會議ヲ開キ自黨ノ手ニ藉リ之ヲ議決シ是ニ於テ同月二十五日政府ハ前顯事實ニ反シ法律ノ命セサル退官ヲ執行シタリ

當時安川等ハ院長一派カ事實ヲ誣ヒ其眞ヲ掩フノ議決ヲ爲シタルヤ其顛末ヲ文書ニ裁シ五月六日内閣總理大臣ニ呈出シ其副本ヲ各國務大臣ニ呈出シ

督ヲ爲サス明治十三年栃木縣知事藤川爲親ヨリ其被害ヲ訴ヘタルモ更ニ顧ミ斯永年害毒ヲ憲ニセシメタリ此十九箇年間ノ長キ其間ニハ當局大臣ノ交送ハ十有餘人ノ多キニ至ルモ此間害毒ノ根源タル鑛業ヲ停止セシ者ナク而シテ去ル明治二十四年第二議會ノ質問ニ對シテハ詐謀ノ答辯ヲナシテ「陛下ト國民トヲ欺キシ陸奥宗光ヲ初メ今ヤ舊大臣ハ死亡シ又ハ退職セシモノ少カラスシテ現内閣又日尙淺シ然リト雖モ既往ニ於テ當時其要路ニ位地ヲ占メシモノアリ又永ク其直接ノ局面ニ在リテ職務ヲ取リナカラ鑛業主ノ隨意ニ任シ多大ナル被害地ノ増加スルヲ傍観シナカラ尙同省中ニアリテ更ラニ立身昇給セシモノスマアリ去レハ現内閣又此政弊ノ内部ヲ詳知スルモノナリ之ヲ知リテ其弊ヲ去ラス其惡ヲ知リテ之ヲ改メサル抑々之ヲ如何

農商務省ハ去ル十三年以來十九年間ニ涉リテ既ニ其非行ヲ遂ケ盡シタルモノナリ二十四年以來前後八回ノ質問ニ對シ未タ一回モ條項ヲ追フテ答辯ヲ爲シタルコトナキハ如何

政府部内或官吏ノ俄カニ財ヲ貯ヘテ奢侈ノ生活ヲナスモノアリト假定セヨ之ニ反シ被害地ヨリ他年租稅ヲ徵收セラレ貧苦窮迫結婚ヲ害サレ一夫一婦ヲ娶ルヲ得ス又鑛毒激甚地ハ衛生ヲ害サレ婦女ノ妊娠中乳汁ノ缺乏ヲ來タシテ死體分娩トナリ偶々生產スルモ乳兒ノ多クハ死亡シ壯丁ハ東西ニ離散シテ老幼爲メニ餓ユルノ慘状ヲ呈セリ之レ「皇帝陛下ノ臣民カ均シク憲法下ニアリテ怪ムヘシ一暴力家ノ爲メニ當路ノ官吏ハ不義ニシテ富ミ且ツ昇身シ無辜ノ臣民ハ日ニ貧苦疾病併ヒ至リ身財ヲ併セテ之ヲ奪掠セラル此被害民モ又誠ニ「皇帝陛下ノ臣民ナリ國家又斯クノ如キ非理非道ヲ容ル」ヤ如何

鑛毒ハ海嘯ノ如キ一時ニシテ後來永ク災害ヲ止メサルモノト同一視スヘカラス又震災火災陥落等ノ如キ一朝一夕ノモノニアラス而テ天災ト人爲ノ區別アルノミナラス鑛毒被害ハ全ク單一ナル天災ニアラス固ヨリ人爲ノ被害ニシテ其狀態ノ復雜難諒ナル凡ツ人生ニ關スル不幸ノ種目何一つ備ヘサルナク衣食住ノ三者ヲ始メ悉ク人生ノ快樂ヲ奪ヒ漸次被害ノ襲ヒ來リ數年ヲ經ルノ後ハ終ニ其土地ト人類トノ亡滅ニ至リ且ツ山高地アリテ民家ノ殘留スル所アリト雖モ之レニ對スル行政上ノ費用ハ減スルニアラスシテ却テ增加スルモノタルヲ思ハサルヘカラス又今ノ鑛毒稀薄地ト雖モ他日濃厚ノ被害ト化シ土地ノ亡滅ハ此被害ノ程度ニ伴フテ際涯ナカルヘシ古來此地ニ居住スル人民祖先傳來ノ耕地ヲ捨テ他鄉ニ去ラサルヲ得ス然レトモ身財ニニ疲弊シテ又去ルヘキノ資力ナク老者病ミ兒ハ死シ進退極マルモノアリ政府ハ此被害民ガ人爲ノタメニ此窮極ナル苦痛ヲ受クルヲ救ハサルヘカラサルニ却テ其非行ヲ掩リ却テ上官ヲ欺キ且ツ窮民ヲ壓シ終ニ之レヲ殺スノ甚シキニ至ル政府之ヲ見テ其寃ヲ救ハサル如何

足尾銅山附近山林ノ盜伐ハ著明ノ事實ナリ而シテ今尙樹木ノ伐採ヲ禁セサルハ如何

濫伐ノ跡更ニ木根ヲ掘リ土ヲ巻リ山骨露出セシメタリ煙毒ハ山澤ヲ巡

リテ綠色一點ヲ止メス土砂落チ石流レ河底ノ塵埋高セルモノ數千里地帯ヤ、平カナルニ水勢益々激シ川體ハ破壊セラレ堤防洪水ニ沒シテ又破壊スルモノ多シ之レ近年激烈ノ變象ニシテ民宅ノ流亡人畜ノ死亡ヨリ毒浪ノ中ニ飲食ヲ絶ツモ等其悲惨ハ廣大ノ事實ナルニ地方官ハ之ヲ上司ニ訴ヘサル如キ之レ皆被害ノ眞想ヲ掩フテ其被害ヲ小ナルモノ、如クスルモノナリ地方官ノ非行如此シテ中央政府又今日ニ至ルモ之ヲ救ハス殆ント無政府ノ境タリ之ヲ如何

銅山借區内ノ鑛毒沈澱池ハ其ノ效用ヲナサス兩季ハ毒水氾濫シ凍期ハ結冰シテ又如何トモス可カラス如何

政府ハ下流被害地ニ堆積セル沿岸ノ毒土ヲ除却シ下流沿岸一帶ノ町村ヲ保護セン爲メニハ完全ナル豫防工事ヲ爲サル可カラス又々加害者ニ對シ其ノ工事ノ嚴命ヲ發セサルハ如何

毒土ハ洪水至ル毎ニ流動攪搬シテ浸害ノ位置ヲ變更シテ被害ノ區域ヲ擴張セリ故ニ被害地ノ狀態今日ヨリ未來ヲ推シテ其ノ慘状ノ甚シキニ至ルヲミルヘキナリ此年タ被害ノ事體ヲ進ムル者ナレハナリ假令ハニ伴フテ明年又タ更ラニ其ノ設計規模ヲ擴張セサルヲ得ス此ノ如久年ヲ追フテ被害激甚ノ狀態ヲ増加シ一日後ル、レハ一日ノ損害ヲ増スヘシ今ヤ被害極度ノ土地アリ不遠シテ人類其ノ跡ヲ絶チ終ニ請願ヲ爲ス可キ被害民ヲモ見ル能ハサル程度ニ達スヘシ此レ今日ニ見易キ處ナリ

八

鑛毒激甚地被害ハ刻下猶豫ス可ラサル慘狀ノ極ニ陷リ其ノ慘毒ハ衛生上ノ被害ヲ避クル道ナク權利ヲ保全ス可キ氣力盡キ又タ耕ス可キ土地ハ毒セラレテ細民每戸母體ノ乳子ヲ缺キ出産ノ過半死體トナリテ分娩シ又タ生兒ノ死亡甚タ多シトハ前條ニモ記セシ如ク此レヲ人爲ノ加害ニ出ルトセハ此レヲ人類ノ社會ト云フ可カラス固ヨリ普通ノ法律ヲ以テ救濟シ得可キモノニ非サルハ勿論ナリ或爾村落ノ一部落ニ付キ僅々被害民ノ調査セシ統計ニ依リテ其事實ノ顯然タルニ驚カサル可カラス之ヲ如何

鑛毒被害地出產死亡表 柏木縣安蘇郡船津川

野村大字船津川 明治三十一年十二月調査

年	度	戸數	人口	出生者	死體分娩	死亡者
明治三十一 年	四年	三百五	五百	二千六	二四九	四六
						二
同	三年	三	一百一十五	一百一	一九	七
						八
同	二年	三	一百一十五	一百一	一九	七
同	一年	三	一百一十五	一百一	一九	八
前	同	二	一百一十五	一百一	一九	九
村	字	沼畠				

六

三

四

無害地トノ比較

被害劇甚地

接續ノ無害地

日本全國

人口百人ニ對スル出產

一八五

三〇四

二一〇

十七

モノニアラスヤ如何
例ハ政府自ラ無益ニ國家ノ納租地ヲ減滅セシムルコトヲ勧ムモノ
古來其例ヲ見ス政府自ラ忠貞ナル人民ヲ殺サンタメニ人爲ノ力ラヲ
假リ之ヲ殺スモノアルヲ見ス而テ鑛毒被害地目下此慘状アリ之ヲ如
何現政府又タ此ノ非行ヲ繼續スルヤ如何

九 敷萬人民ノ生業ハ正ニ此レヲ停止セラレタリ三十有餘萬臣民ノ生命ヲ
危態ナラシムルモ又タ見易キ道理ナリ夫レ數萬臣民ノ生命ヲ傷ケ將サ
ニ生命ヲ奪ヒ死亡ニ至ラシメシモノアルハ如何
十 鑛毒加害ノ慘状ハ兒童ノ體格智育及ヒ兵士ノ體軀トニ關係少カラサル
ヲ如何且河身ノ測量實行アルモ工事ノ實行ナキヲ如何去ル明治三十年
内務大臣樺山伯爵ノ被害地巡視ノ當時ニ比シテ更ニ三四倍ノ慘状ヲ呈
シ稻田未タ刈リ取ラサルアリ河身俄ニ埋高シテ毒浪氾濫ノ區域ヲ增加
シ此レヲ防クヘキ工事ナク此レヲ除ク可キ工事ナク菅加害者ノ暴横ヲ
悉マナラシムルハ如何之ヲ政府アリト云フヲ得ルヤ如何

十一 鑛毒厚薄ニヨリ明治三十年大藏大臣松方伯爵ハ有期免租ノ處分ニ出
テ農商務大臣大隈伯爵ハ銅山鑛業主古河市兵衛ニ命スルニ豫防ノ嚴
命ヲ出セリト雖モ惜政カ被害民ノ請願ヲ無視シテ時機ニ後ル、
コト殆ント九箇年今ヤ鑛山ノ豫防ハ其功ナク免租ノ如キモ鑛毒ハ繼
續被害ニシテ年々被害者増スアルノミ有期免租ヲ以テハ已往ノ損害
ニ對スル高ノ千分ノ一ヲモ償フニ足ラサルノ土地多シ此鑛毒ノ激甚
地所有者ノ損害實ニ容易ナラス加之免租ニ伴フ渾テノ公權ヲ奪へ且
其ノ道ヲ盡セト當路者ハ此レヲ机上ニ埋没シ又タ言ヲ左右ニシテ空
シク歲月ヲ經過セシメタリ去ル二十四年ハ凡千二百餘町ノ被害段別
ナリシモノヲ請願ヲナシ其後ニ人民屢々大勢出京其請願中ニ於テ其
被害段別凡五万餘町ノ廣大ナル事態ニ增加セシメタルハ如何

右條々ノ要旨一々其要領ヲ掲ケ今會期中ニ於テ必ス答辯アランコトヲ
提出者 田中正造 安川繁成

加藤政之助 中島祐八

石原半右衛門 大津淳一郎

堀越寛介

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

立テサルハ如何

十三 被害民中央政府ニ訴ヘントスレハ忽然軍馬ヲ駆テ窮民ノ旅行ヲ妨ケ
或ハ寒天ニ橋ヲ徹シ或ハ大河ノ渡船ヲ奪ヒ或ハ貧民ノ行路宿泊寢食
ヲ妨害セル等ノ事此レアリシハ如何
十四 被害民ノ陳情及議會ノ質問ニ萬一疑ヘアラハ被害地ヲ巡視スルニ若
カス被害地ハ東京府ニアリ江戸川ノ末流ニアリ行ヒテ見ルヘシ又被
害ノ慘状ハ桟木、群馬、埼玉、茨城ノ中ニアリ水源山岳ノ荒亡ハ足尾
銅山附近ニアリ被害地ヲ視察スルヲ以テ眞偽ヲ明ニスルノ第一良便
トス然ルヲ政府ハ殊更ニ之ヲ巡視セサル如何
十五 政府ハ多年間加害者ノ暴横ヲ助ケ加害者ノ惡事ヲ掩ハシ爲メニ遂ニ
憲法ヲ忘レ又タ法律ヲ忘レ此ノ被害民カ「皇帝陛下ノ臣民タルヲ忘
レテ之カ臣民ノ資格ヲ奪ヘ無罪ニシテ可憐此被害民ヲ虐待酷遇シ或
ハ諸請願ノ進路ヲ害シ又タ屢々其時機ヲ過マラシメ務メテ歲月ト時
機トヲ経過セシメ當ニ被害ヲ増大ナラシム爾等政府ノ眼中國家ナク
亦タ臣民ナク亦國家ノ良土ナク政府自カラ我國土ヲ亡滅スルモノ
ナリ其ノ行動如何
十六 従來政府ハ被害民ヲ窮迫セシメ此レヲ苦シメ此レヲ泣カシメ終ニ此
レヲ激セシメ其ノ激昂スルモノアルヲ待テ此レヲ捕エテ刑ニ處シ又
事故ニ托シ此レヲ捕エテ永ク監ニ投シタリ之レ民ヲ網スルノ甚シキ

○議長(片岡健吉君)

是ヨリ會議ヲ開キマス、安川繁成君

賛成者

初見八郎

外百十八名

安川繁成君演壇ニ登ル

○安川繁成君(百二十一番) 諸君、私ハ會計検査院ノコトニ關スル事項ニ附
キマシテ、政府ニ質問ヲ致シマスルコトニ議長ヘ其書ヲ呈シテ置キマシテゴ
ザイマス(「モット大キイ聲ヲシタマヘ聽エナイ」ト呼フ者アリ)會期ノ切迫
ヲ致シマスルコトデモアリ、又本日ハ重要ナ問題モゴザイマスル趣デアリマ
スカラ、務テ簡短ニ其要旨ヲ諸君ノ御清聴ニ達シタイト考ヘマス、其質問ノ
要旨ハ明治三十年四月十二日ノ官報ニ公表シテアリマスル所ノ會計検査院ノ
決議ニ關スルコトデゴザンスル、ソレハ明治二十七八年日清戰爭ニ要スル所
ノ臨時軍事費検査ノコトデゴザイマシテ、會計検査院法ニハ十五條十條ノ規
定ニ依リマシテ合議體ノ決議ヲ上奏シ得ルト云フ權能ハ、検査院ニ付與セラ
レテアリマス、然ルニ當時ノ院長渡邊昇ハ其法條ニ規定シテアルニモ拘ラズ、
軍事費検査ノ結果ヲ恣ニ上奏ヲ致シタト云フ事柄デゴザンスル、ソレテ本員
等ハ、我帝國ニ於テ上奏ハ事重大デアル、合議體ノ決議ヲ經ズシテ上奏スル
ハ違法デハナカト云コトヲ忠告致シマシタ次第デゴザイマス、然ルニ昇
ハ、ソレハ出來ルノデアラウト思フ、獨逸デモ出來ルト思ッテ居ツタ、今
ソレハ調べサセル、少シ返事ヲ待ツテ吳レト云フヤウナコトデゴザイマシタカ

ラ、其返答ヲ待クテ居リマスル、其後ニ四月十日ニ於テノ濱弘一深井寛兩人ノ提出ニ係ル所ノ總會議案ヲ提出致シマシタ、其議案ノ要旨ハ何デアルカト云フト、此上奏ハ検査成績デナイ、十五條ニ依クタモノデナイ、會計検査院長ハ行政ノ監督上ヨリ發動シテカラニ上奏ハ何時モ出るモノデアル、斯ウ云フ話ダ、併ナガラ上奏ヲスルト云フコトハ、法條ニ依ラズシテ、勝手ニ出来ルカ、試ニ衆議院議長ガ上奏ヲスルニ議決ニ依ラズシテ、衆議院ノ整理上ニ於テ衆議院議長ガ勝手ニ上奏スルコトガ出來ルカ、決シテ出來ナイ筈デアラウト思ヒマス、検査院モ其通ニアリマシテ、法文ノ外決シテ出來ナイ筈、然ルヲ總會議ニ依クテ出來ルト云フノ決議ヲシタ、斯ウ云フ話デゴザイマス、又シ検査院ガ決議ニ依クテ法律ノ左右ガ出來ルト云フコトデアルナラバ、立法部ナル帝國議會若クバ御大權ニ關スルコトデアラウト思ヒマスシテ、ソレヲ抗議致シマシタ、然レドモ其決議ヲ經ナイトシテ、三十年四月十二日ノ官報ニ公表シタ次第ゴザイマス、其件ニ附キマシテ質問ヲ致ス、是が第一項デゴザイマス、ソレカラ第二項ハ三十年五月二十五日ニ安川繁成吉田市十郎其他二名ノ者ニ退官ヲ命シタ一事ニアリマス、其退官法ト云ヒマスルモノハ、二十九年九十一號ノ法律デゴザイマシテ、極簡單ニ精神若クバ身體衰弱ニ依リ職務ヲ執ルコト能ハザルモノハ、検査院會議ニ於テ是ニ退官ヲ命ズルコトヲ得ルト云フ法條ニテザイマス、然ルニ本員等ハ精神若クバ身體モ衰弱我シテ居ラズ、外二名ノ者モ最モ壯健デアル所ノモノテゴザイマス、ソレヲ其精神若クバ身體衰弱ニ依リ職務ヲ執ルコト能ハザルト云フ法條ニ曲當致シテ、退官ノ決議ヲ爲シ、之ヲ内閣ヘ奏請致シタ次第ゴザイマス、其他會議ノ仕方が極祕密ト云フコトニアリマシテ、議員僅ニ十二三名ノ者ガ列席シテ、ソレデ列席シタ後ニ議案ヲ配付致シマシテ、質問モナク、討議モナシ、直グニ決議ヲ致シテ、又其議案ヲ皆回収シテシマックト云フコトデゴザイマス、是ハ恐らく他人ノ參照ニ供サル、ト云フコトヲ避ケルタメデアツタカモ知レマセヌ、併ナガラ身體或ハ精神ガ衰弱セヌ者ヲ衰弱シタ者ハ、退官スルト云フ法律ニ當籍メルト云フコトハ、不當ノ極度ト本員ハ考ヘマス(ヒヤー)即チ此安川ト云フ者ハ、ヨニ居リマスル所ノ私デゴザイマス、若シ職務上ノ行爲ニ不當ナコトガアルト云フコトニアレバ、其懲戒スベキハ懲戒ノ法律ニ依クテヤラネバナラヌ話デアル、然ルニ其法律ハナノデアリマス、其ナイ者ヲ其退官法極單純ナル、前ニ申上グマシタ所ノ精神若クバ身體モ衰弱ニ依リ職務ヲ執ルコトハ能ハザルト云フ條項ニ當籍メタ、本員ハ其検査院ノ議決ハ、五月ノ五日デゴザイマシタ、其トキニ退官ノ決議ヲシタト云フ通知ガアリマシタガ、ドウ云フコトガアツテ退官シタカト云フコトハ言ヒマセヌ、唯退官シタト云フ、ソレカラ本員ハ答ヘテ、退官ナラソレデ宜イ、併ナガラ退官決議ノタメニ直グ吾ミガ職ヲ退クデナイ、内閣ガ之ヲ天皇ニ奏上ヲシテ天皇ノ裁可ヲ俟クテ後ニ辭令ヲ賜ハルコトデアルカラ、其辭令ヲ賜ハル中ハコニ職務ヲ執クテ居ル、其合議體ニ吾ミガ言付ケラレタモノデナヒ、部長ニ譲テ御受ヲ致スノデアルカラト申シテ、五日ノ決議ヨリ二十五日マテ日々出勤シテ、其事務ヲ執クテ居リマシタ、ソレテ内閣ハ隨分議論モアリマシテハ天皇ニ勅任サレタ者デアルカラシテ、天皇ノ退官ト云フ命令ガアレバ、是ガ節ニモ此九十一條ハ精神若クバ身體ノ衰弱ト云フコトデアルカラ、醫者ニ

一ツ診斷ヲサセテ見ヤウ、外國人ガ一人、内國人ガ三人、其醫者ニ診斷ヲサセテ見マシタ所ガ、孰モ健全ナリト云フ診斷書デゴザイマス、又同志ノ者ハ此健全ナル者ヲ九十一條ニ當指メルト云フコトハ不當デアルカラ、此診斷書ヲ以テ此辭令ヲ突返サウ云フヤウナ説モゴザイマシタガ、併ナガラ苟モ官吏ノ公德トシテ左様ナコトハサレベキモノデナイ、因クテ謹テ此辭令ハ拜受シテ置カネバ、相濟マヌト云フコトデアルト云フコトデ、其儘ニ打捨テ、辭令ハ拜受致シマシタ、其後ニ此病氣テナイト云フコトガ、内閣總理大臣、其トキノ總理大臣ハ松方伯デゴザイマシタ、松方伯ガ病氣デアリマシテ、其假攝總理ガ黒田樞密院議長デゴザイマシタ、今日マテ是ヲ本員ハ謹テ居リマシタガ、今日マテ此處分ノ如何ヲ見ルコトガ出來マセヌ故ニ、會期切迫デハゴザイマスルガ、已ムヲ得ズ此質問ヲ出シタ次第ゴザイマス、前ニ申シマシタ通會期切迫且ツ重要ナ問題モゴザイマスルコトデゴザイマスルカラ、私ノ話ハ是ニ止メテ、諸君ノ清聽ニ達シ置キタイト考ヘマス

○議長(片岡健吉君)

(井上角五郎君演壇ニ登ル)

○井上角五郎君(百八十番) 諸君、本月三日松方大藏大臣ガ此席ニ於テ演説セラレタ所ノ趣意ハ、唯一場ノ演説デハゴザリマスケレドモ、ナカク重大

ナル關係ガアルト思クテ居ル、ソレハ何ガ重大ナル關係アルカト云ヘバ、

一ハ現政府ガ此議會ニ對スル所ノ從來ノ言責ニ於テ斯様ナル演説ヲ爲スベキモノデナイト思フ箇條、又一ハ現大藏大臣トシテ、此社會ノ經濟國家ノ財政ニ重キヲ爲ス所ノ人ガ、斯様ナル言論ヲ容易ニ爲スベキデナイ、ソレヲ爲シタト云フコトハ、取リモ直サズ社會ヲシテ不安危惧ノ念慮ヲ懷カシムルニ足リルト云フ、此二點カラ容易ナラザル演説デアルト云フコトヲ心得マシテ、

茲ニ一ツノ質問書ヲ提出致サウト心得マス、質問書ヲチヨクト朗讀ヲ致シマセサルヤ明ラカナリトス

本期帝國議會ハ今ヤ既ニ歳入補填ノ各案ヲ議了シタリ本院提出ノ府縣監獄費及府縣監獄建築修繕費國庫支辨ニ關スル法律ヲ實施スルモ大ニ新事業ヲ起シ歳出額ヲ増スモノアルニアラサレハ之カ爲メニ別ニ財源ヲ求ムルヲ要セサルヤ明ラカナリトス

然ルニ本月三日本院ニ於テ該法律案ノ議事ニ際シ大藏大臣伯爵松方正義君ハ現在ノ財政ニテハ之ヲ支辨スルノ餘裕ナシト述へ且ソ曰ク併シ三十四年度ハ歲計ニ於テハ全額ノ仕拂ニナリマシテ五百萬餘リノ金額テアリマシテ見マスルト(中略)新ニ財源ヲ求ルヨリ外ニ途ナイト存シマス云々是レ本員等ノ信スル所ト相反スルカ如シト雖モ畢竟スルニ同大臣ハ今後各種財源ノ年々増殖スヘキ見込アルニ之ヲ豫算ノ外ニ置キタルヨリ此説アルニ至リタルモノナラン果シテ然ルヤ否

是ガ質問ノ文章デゴザイマス(其通ト答ヘルダラウト呼フ者アリ)監獄費テハ、數字ヲ列ベテ聊カ御話ヲシテ置カウト思ヒマス、監獄費國庫支辨ト云フコトハ、丁度井上大藏大臣ガ地租增加ノ議案ヲ此議場ニ出シマストキニモ是ガ成立クタナラバ、監獄費國庫支辨トスルト云フコトヲ参考書ニ明記シテ

出シタノデス、ソレカラ又今回ノ政府ガ地租酒稅其他各種ノ稅ヲ増加スルト云フ其トキニ當リマシテカラニ、所謂明治二十九年度ヨリ明治二十八年度ニ至ル十箇年度間ノ歲入歲出統計表ト云フモノヲ参考トシテ出シタ、此統計表ノ中ニハ三十二年度監獄費國庫支辨五百七万七千三百二十二圓、三十四五年度六年度七年度八年度、悉ク監獄費國庫支辨ト云フコトヲ載セテ居ル、サウシテ見レバ地租其他ノ諸稅ヲ増加スルニ當ッテハ、監獄費國庫支辨ハ是サヘ出來レバヤルト云フコトハ、明白ニ意味セラレテ居ル、所テ政府ガ即チ財政補填トシテ今回議會ニ出シマシタ所ノモノハ、何デアルカト云ヘバ、是ハ諸君ノ御承知ノ通ニ地租所得稅酒稅鹽稅印紙及押印ノ收入、葉煙草專賣ノ收入、日本銀行納付金、是タケデアツテ、其金高ハ本年度ニ三千四百八十八万九千七百四十五圓、明年度ハ四千六百九万四千百七十五圓ト云フモノヲ取ルヤ議會デ一切出來上シタ所ノ第一第二ノ補填財政補填ノ總體ハドウナカト雲積デアツタ、然ルニ議會ハ地租ノ増加ニハ贊成ヲシマシタケレドモ、政府ノ見込ヨリモ少クシタ、ソレガタメニ政府ハ第二ノ補填ト云フモノヲ出シテ來タ、其一ハ即チ醬油造石稅ノ如キモノガ其一、第二ノ補填ヲ出シテ來テ、今ヤ議會デ一切出來上シタ所ノ第一第二ノ補填財政補填ノ總體ハドウナカト雲ルカト云ヘバ、地租所得稅酒稅鹽稅葉煙草專賣收入、印紙及押印ノ收入、日本銀行券發行稅、醬油造石稅、葉煙草營業免許稅、郵便電信收入、ソレニ輸出稅ヲ廢止スルト云フ、延期シタト云フ結果ガ、此三十二年度ノ方ニハ幾ラカ混シテ、合計ア三十二年度ハ三千一百六十一万二千九百二十二圓ヲ増加シテ居ル、二十二年度ハ四千五百八十九万九千九百八十九圓ヲ増加シテ居ル、是ガ即チ政府ガ出シタ所ノモノニ向ッテ、吾ミガ修正ヲ加ヘ、又增加ヲシタ所ノ結果トシテ成立シタル總高、之ヲ以テ政府ガ提出ヲシテ、最初ニ是ダケ歳入ヲ增加スル見込デアルト云フ見込ヲ立テタモノト較ベテ見ルト、三十二年度ハ二百一十六万六千八百二十一圓少イ、三十三年度ハ丁度四百二十万一千百八十二圓政府ノ見込ヨリ少イ、所ガ此三十二年度ハ政府ノ見込ヨリ四百二十万一千八十六圓少イト云フノハ、例ヘバ酒稅、例ヘバ煙草稅、ソレトノ稅ト云フモノハ、漸次増加スルモノヲ見積シテアルケレドモ、新規ニ増シタ所ノモノニ附イテ、其増シタ割合カラ更ニ増加シテ來ル所ノ増加ヲ見込マナケレバ、右ノ如ク明年度ガ四百二十万一千八十六圓、政府ノ見込ヨリ増加ガ少イケレドモ、總テノモノハ年々増加スル筈デアルケレドモ、茲ニ或ル一ノ點カラ計算ヲシテ見是程ノ高デハナインデス、サウシテ見ルト政府ガ出シタ所ノ財政補填ノ案ハ、議會ガ今日決定シタ所ノモノデ見レバ、今年モ歲出入ガ償ハヌ筈、明年モ從テ歲出入ガ償ハヌ筈デアルケレドモ、茲ニ或ル一ノ點カラ計算ヲシテ見第十三號マデ出テ居リマス、三十二年度ノ豫算豫算ノ追加ハ、一號カラルト、決シテ償ハヌコトハナインデス、即チ三十二年度ノ歲入歲出、現在當議會ニ於テ決定シタ所ノ三十二年度ノ歲入歲出ノ本豫算追加案ガ、丁度第一號カラ第十三號マデ出テ居リマス、三十二年度ノ豫算豫算ノ追加ハ、一號カラトヲ概算シテ見マスルト、此ヤウナモノニナリマス、歲入合計ガ二億四千七百零三號マデ出テ居リマスガ、其一號カラ第十三號マデノ追加ハ、本豫算ノ衆議院ノ決定シタモノハ、決定額ニ依リマダ決定セザルモノハ、政府ノ提出ニ依クテ、サウシテ三十二年度ノ總體ノ歲入歲出ハ、幾カニナルカト云フコトヲ概算シテ見マスルト、此ヤウナモノニナリマス、歲入合計ガ二億四千七百零三號マデ出テ居リマスガ、其一號カラ第十三號マデノ追加ハ、本豫算ノ本豫算竝ニ追加一號ヨリ十二號マデノ結果ノ歲入歲出ハ、此有様デアツテ、其歲入ト歲出ヲ比ヘテ見ルト云フト、歲入超過即チ餘ルコトガ——餘ルコト

ガ五十万三千三百五十八圓、三十二年度ノ經濟ハ五十万三千三百五十八圓餘フテ居ル、併シ是ハ餘ヲテ居ルト云フト、直グ大變仕合セアルト思召スガ、是ハ公債其他ノ關係カラ餘ヲテ居ルノデ、政府ノ十箇年間歲入歲出概計表ニ出シタ所ノ主意ニ依クテ計算シテ見ル所デ、餘ルト云フ程デハナイケレドモ、決シテ不足ハ告ゲテ居ナシ、政府ノ財政補填ニ比ベレバ、議會ノ決定シタモノハ二百万以上少く増加シタニモ拘ラズ、三十二年度ノ歲入歲出ハ斯ノ如キ結果ヲ見タト云フノハ、其理ハ果シテ何デアルト云ヘバ、是ハ詰リ斯ウ云フ道理ナンデ、モウ分リ切タ道理、本豫算竝ニ追加第一號デ衆議院ノ豫算委員會竝ニ本院ニ於テ修正ヲシテ節減ヲシタコトハ、百六十五万五千四百五十五圓ト云フモノハ、是ハ節減シテ居ル、即チ十箇年間ノ概計表ノ政府ノ見込ヨリハ百六十五万以上ノ金ヲ減少ヲシタ、ソレカラモウ一ツハ電話トカ電信トカ汽車ノ收入ヲ増加シテ居ル、是ハ議場ニ掛ラズシテ、法律案トナラズシテ、増加シテ居ルモノガアル、ソレトモウ一ツハ即チ此酒ノ稅トカ、我ハ葉煙草專賣收入ノ如キモノハ、是マデノ稅率ヲ往ケバ、此位増加スルデアラウト云フノガ此十箇年間ノ歲入歲出概計表ニ見積シテ居ル所デアルケレドモ、是ハ増シタ稅率ノ割合を行ケバ、其金高ノ増シハ、モウ一層増加スル筈デアル、其増加ノ數量ヲ見込シテ居ナイト云フ、是等ノコトノ關係、尤モ此煙草專賣收入ノ如キモノハ、是マデノ稅率ヲ往ケバ、是ハ次年度以後ニ重ニ關係ノアルコトデゴザイマスカラ、暫タソレハ除イテ、即チ衆議院議員ガ節減ヲ爲シタト云フコト、電信電話汽車ノ收入ガ増加シタト云フコトハ、財政補填ノ總高ハ政府ノ見込ヨリモ少く増加シテモ、歲出入ハ具合好ク往シタト云フ、是ガ三十二年度ノ事實、果シテ三十二年度ガ左様ナ事實ガアルナラバ、三十三年度ニ於テ同一ノ事實ヲ見ナケレバ、ナラヌ、ニ十三年度ニ於テハ政府ノ見込ヨリモ議會ノ決定シタル所ノ財政補填ノ收入減少ハ、前ニ申シマス通り四千二十万二千八十六圓デアルケレドモ、三十二年度ニ吾ミガ百六十万以上ノ金ヲ節減シ得タ、即チ此概計表ニ示ス所ノ金ノ内カラ節減シ得タト云フナラバ、三十三年度ニ於テ之ヲ節減シ得ラレナイト云フ理由ハナカラウト思フ、三十三年度ニ於テモ、必ズ二百万圓近クノ金ハ、今年ノ豫算ヲ査定シタル方針ニ依クテモ減シ得ルモノデアルト思フ、況ヤ政府ガ款項ニ區別シテカラニ、豫算ヲ議會ヘ出ストキニハ、マサカ非常ナ懸直モ出來ナイケレドモ、唯概計トシテ示シタ所ノ金高ハ懸直モ、懸直ヲスル積モナカラウト思モ、先づ宜イ加減ニ積シテアル金ト云ハナケレバナラヌ、又明年度ノ此概計表ノ金ノ内カラ吾ミガ二百万圓ノ金ヲ今年同一ノ査定ノ方針ヲ以テ減ズルコトハ出來ナイ道理ハナイ、又一方ニ今年既ニ増加シタル所ノ電信電話汽車ノ收入増加ハ、明年ニ於テモ尙未増加ノ度ヲ進メテ來ルニ違ヒナシ、ソレニ又一方ニハ右申シマシタ通ニ酒ノ稅トカ葉煙草專賣收入ノ漸次増殖スペキモノヲ此政府ノ財政補填ト議會決定ノ財政補填ノ差額ヲ積ルトキニ於テ見込シテ居ラナカツタト云フ、此三點カラ決シテ明年度ニ於テ十箇年トカ歲入歲出概計表ノ見込ノ如キモノヲ見込ノ通往カナイ道理ハナイ、ソレガ往クナラバ、監獄費國庫支辨ト云フモノハ、新財源ヲ求メシテ出來ルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアル、分リ切タコトデアル、何故ニ政府ハ其新財源ヲ求メナケレバ、監獄費國庫支辨ハ出來ナイト云フガ、何故ニ大藏大臣ハ左様ナ言葉ヲ放ツカ、唯今ノ手續カラ言ヘバ、左様ノコトヲ云ヘル筈ハナイガ、假ニ一步

ヲ讓フテ議論ヲシテ見マスルノニ、尙ホ且ツ大藏大臣ノ此言葉タルヤ言責ヲ重セズ、親切ニアラズト云フコトヲ以テ迎ヘルノ外ハナイト思フ事實ガアル、ソレハ何デアルカト云ヘバ、此十箇年度間歲入歲出概計表ノ中ニ、三十年度以後ハ斯様ナ項目ガ設ケテアル、新事業費及ヒ償金線替償却ト書イテアル、新事業費ト云フモノハ、今マデノ繼續事業、今マデノ議會テ極メタ事業ノ外ニ、何カ又新規ナ仕事が起ルカモ知レナイト云フ、其新事業費ト償金線替デ、一時仕拂ッテアル此金ヲ戻スガタメニト云フ項目ガ、三十三年度以後ハ設ケテアル、ソレガ幾ラデアルカト言ヘバ、三十三年度ガ五百万圓三十四年度ガ千三百萬圓、三十五年、三十六年、三十七年、三十八年、三十九年、四十一年度ガ一千四百万圓、トス様ニ多額ナ金ガ新事業ト償金線替償却ニ充テ、アル、所ガ償金線替償却ト云フノハ、外カラ取シテ來テ、總歲出入ノ中ヘ使フタノデアルカラ、戻サナケレバナラヌ金デアルトシテ、之ヲ戻ス金ハ幾ラデアルカト云フト、其金高ハ二千六百万圓、唯今申上ゲマシク所ノ概計表ノ三十二年度以後六箇年間ニ見積シテアル新事業費ト、償金線替償却ノタメノ豫備金ニ一億七百万圓ノ金高ガアルテ、償金線替ニ戻ス金ガ二千六百万圓デアルナラバ、一箇年平均——是ハ一箇年平均ト云フ言葉ハ、少シ實際ニ於テハ粗漏ナリト云フ説ハ免レマセヌガ、言葉ノ一話ノ分り宜キタメニ三十三年度以後政府ハ償金線替償却シタ残リガ、一箇年平均ドノ位ツ、新事業、是マデトント音ミガ思附カナカラタ新事業ヲ爲ス金ガアルカト云フト、千三百五十万圓宛ノ豫備ガアルコトニナル、千三百五十万圓宛ハ、明年以後ハ新事業ニ豫備ガアルト云フコトガ、是ガ計算ニナルナラバ、償金線替償却ヲ少シ遅シテ、サウシテ明年ノ五百萬ノ内ヲ監獄費國庫支辨ニ充テ、明後年ノ千三百萬圓ノ内ヲ國庫支辨ニ充テルト云フコトニシテ行クニ於テ、少モ困難ハナイ、出來ル筈ナシテ、少モ困難ハナイ、然ルニ松方大藏大臣ハ償金線替償却ト云フ一億七百万モ此六箇年ニ豫備金ヲ見積シテ置キナガラ、償金線替償却明年明後年其次ノ二箇年間ニヤクシテ行クニ於テ、少モ困難ハナイ、出來ル筈ナシテ、少モ困難ハナイ、然ルニ輪ノ遺縁リソレ程ノ困難ヲスルコトモナカラウト思ヒマス、ソレ程ノ嚴重ニスルコトモナカラウ、又嚴重ニスル積デナクテモ、此概計表ヲ出シテ、此間際ニ至ツテカラニ概計表ノ計算ノ遣縁ヲ違ヒテ來テ、到底如何ニシテモ融通ハ附キマセヌト云フニ至ツテハ、此概計表ノ詳細スラモ、アノトキニ於テ偶然ニモ十分御注意ニナラナカタト申上ゲル外ナイ、ソレデアルカラ吾吾ハ財政補填ノ上ニ於テ、明年ハ四百二十万ト云フモノハ、政府ノ見込ヨリ少ク頃レル計算ニナルカラ、明年以後監獄費國庫支辨ヲ十箇年概計表ニ書イテ如ク出來ナイトシテモ、新事業ニ充テタル金ヲ以テ容易クスルコトヲ爲シ得ルコト、云フコトヲ明言シテ憚カラヌノデアル、又政府ニ於テ明言シテ差支ナインデアルガ、ソレ等ノ遺縁ヲシナクテモ今明年度ノ不足四百二十万、從ツテ明後年ニ續イテ往キマス年々ノ不足ノ金額ト云フモノハ、一ハ議會ノ豫算ヲ修正スルニ於テ、即チ十箇年ノ概計表ヲ修正シテ節減スル結果ニ依ル、一ハ又電信電話郵便汽車ノ收入增加ニ依クテ——郵便ハ別デス、汽車收入ノ增加ニ依クテ、又一二ハ即チ新財源ノ今日財政補填トシテ議會ノ決定シタルモノノ、其率ニ依クテ生ズル所ノ今後ノ増殖が見込ンデナイカラ、其見込ト云フ

モノカラ、金ガ生ジテ來ルト云フコトヲ以テ、監獄費國庫支辨ヲスルニハ、決シテ新財源ヲ求ムルヲ要セヌ、ソレトモ外國ト戰爭ガ起ルトカワレトモ非常災害竝臻シタト云フトキハ致方ガナニガ、今日此状態ニ於テ年々普通ノ入費ダケノモノニ至シテ新財源ヲ求ムルト云フ如キコトヲ苟メニモ大藏大臣ガ唱ヘラル、ノハ、實ニ我國ガ斯ノ如キ鞏固ナル財政ヲシテ、今ヤ僅ニ鞏固ナルコトヲ得タト云フ此間際ニ於テ、其信用ヲ墜サントスル辭ニ他ナラヌト断言スルニ憚ラヌ所デアリマス、ソレノミナラズ松方大藏大臣ハ家屋稅他一件ノ特別委員會ニ於テ、即チ衆議院ノ特別委員會ニ於テカラニ、如何ナル演説ヲ爲サレタカ、家屋稅撤回ノ趣意ヲ演ベテ言ハル、ニハ、家屋稅ト云フモノヲ一ツ議會ニ出シテ、諸君ノ贊成ヲ得ル積デアタガ、葉煙草專賣ノ收入モ大ニ増シタシ、又諸種ノ財源ガ年々增加スルト云フ見込モアルシ、最早家屋稅ヲ取立テナクテモ此國ノ歲入歲出ヲ償ウテ往クニ差支ナイト思ヒマスカラ、即チ今日マデノコト以テ大抵ノ財政補填ハ盡キマシタカラ、家屋稅ハ撤回シテ其儘ニ捨置ク積デアルト云フコトヲ松方大藏大臣ノ特別委員會ニ於テ述ベラレタ、彼レ内閣ハ家屋稅、吾ミハ稱シテ惡稅ト云ウタ、惡稅ト云フタケレドモ、苟モ閣議ヲ經テ其案ヲ議會ニ出シテ置キナガラ、又一方ニハ財政整理シテ行クニ於テ、少モ困難ハナイ、國家ノ生存ト財政整理トハ、茲ビ稱スベキ言葉デアルハナカト云フト、千三百五十万圓宛ノ豫備ガアルコトニナル、千三百五十万圓宛ハ、明年以後ハ新事業ニ豫備ガアルト云フ一億七百万モ此六箇年ニ豫備金ヲ見積シテ置キナガラ、償金線替償却明年明後年其次ノ二箇年間ニヤクシテ行クニ於テ、少モ困難ハナイ、出來ル筈ナシテ、少モ困難ハナイ、然ルニ家屋稅ノ非ナルヲ言ハズシテ、家屋稅ヲ取ラウト思ウタガ、是ハ取ラナクテモ財政ノ補填ハ出來ル、斯様ニ申シテ撤回シテ置キナガラバ、其財政補填ノ理由ノ中ニ、明年カラハ監獄費ヲ國庫支辨ニスルト云フコトヲ書イタ書類ヲ立派ニ議員ニ配付シテ置キナガラ、今ヤ監獄費國庫支辨其案ハ、而モ吾ミハ明年財政ノ都合ヲ計フテ四月一日ト云フノヲ延ベテ十月一日トシタル其案ニ向クテ、萬一ノ場合ニハ新財源ヲ求ムル他ハナニト云フコトヲ演説ヲ爲スニ至ツテハ、前後擅著スルコトモ甚シイト云フノ他ハナイデゴザイマス、要スルニ是ガ政府委員恰度此間モ小學教育費國庫補助法律ト云フトキモ、アノ案ノトキニ田尻君カ出テ演説ヲシテ、未ダ財政補填モ十分ニ出來マセスト云フテモ財政ノ補填ハ出來ル、斯様ニ申シテ撤回シテ置キナガラバ、其財政補填ノ理由ノ中ニ、明年カラハ監獄費ヲ國庫支辨ニスルト云フコトヲ書イタ書類ヲ立派ニ議員ニ配付シテ置キナガラ、今ヤ監獄費國庫支辨其案ハ、而モ吾ミハ明年財政ノ都合ヲ計フテ四月一日ト云フノヲ延ベテ十月一日トシタル其案ニ向クテ、萬一ノ場合ニハ新財源ヲ求ムル他ハナニト云フコトヲ演説ヲ爲スニ至ツテハ、前後擅著スルコトモ甚シイト云フノ他ハナイデゴザイマス、要スルニ是ニ取シテ掛ル程ノ價值ハナイト思フ、松方大藏大臣トシテ事斯ノ如キ議論ノ起ルト云フノハ、ドウシテモ是ヲ質問スルノ必要ガ生ジテ來タノダケレドモ、私ハ其當日ノ議事ノ前後ノ有様ヲ考ヘテ、松方大藏大臣ノ演説ハ、又怨スペキモノガアルト心得ルノハ、或ハ工藤行幹君其他カラ色ニ質問ガ出テ、前後ガ斯ウマゼクニナシテ、ゴチャゴチャシタトキノ場合ニ當シテ出来テノ議論デアルカラ、幾ラカ其際ニ於テハ怒スペキコトハアルト思フケレドモ、速記録ハ既ニ明白ニ私が質問書ニ掲ゲタ如ク書イテ居ル以上ハ、社會經濟ニ關係ノアルコト最モ多キ此場合ニ於テ、吾ミ議員ガ後來ノ財政ニ附イテ如何ナル方針ヲ取ルベキカ、社會モ經濟ニ附イテ如何ナル安心ヲナスベキカト云フコトノ必要ヨリ、此質問ヲ致シマシタ、會期切迫ノ折柄諸君ヲ煩シタノハ、甚ダ相濟マヌコトデゴザイマス、一言吾ミノ質問ノ趣意ヲ述べテ置キマス

○議長(片岡健吉君)此際チヨット報告ガアリマス

(寺田書記官朗讀)

貴族院ヨリ本院ノ回付ニ係ル刑事訴訟法中改正法律案ハ本院ノ修正ニ同意

スルコトヲ得サルモノト請求シ兩院協議會ヲ開カントヲ請求シ且協議委員ノ數ハ十名トナス旨通牒アリ

頓稅法案協議委員議長ニ藤金作君副議長ニ市島謙吉君當選セラレタリ
○議長(片岡健吉君) 今報告致シマシタ通、貴族院カラ此刑事訴訟法中改正法律案ニ付イテ協議會ヲ求メテ參リマシタガ、是ハ此求ニ應ズルコトニ御異議アリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、其協議員十名ハ、議長ガ指名シテ御異議アリマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、其通致シマス、議事日程ノ第一、登錄稅法中改正法律案、貴族院回付

第一 登錄稅法中改正法律案(政府提出貴族院回付)

○星亨君(二百三十四番) 唯今議事日程ニ載クテ居リマスルノハ、即チ登錄稅デゴザイマスガ、是ハ既ニ諸君ノ御手許ヘ往クテ居ルノデアル、貴族院ガ修正致シテ參クタノデアル、此貴族院ノ修正ニハ同意ガ出來ナイコトニ附イテ一言申シタノデアル、貴族院ノ修正ニ依リマスルト、家督相續ニ依ル所

有權收得ト云フノハ、原案ニ復活致シマシテ、千分ノ七ト致シマシタ、我衆議院ニ於テハ之ヲ千分ノ十五ト致シタノデアリマス、ソレカラ又此遺產相續ニ附イテハ、千分ノ二十ト本院ニ於テ修正致シマシタモノヲ十五ト直シテ參クタノデゴザイマス、ソレデ此權衡ハ即チ相續ニ依ラナイモノハ、千分ノ二十五アゴザイマス、今日ノ狀態ヲ見マスルト、此土地ヲ賣買スル者トカ、家屋ヲ賣買スル者バ、多ク貧民デアル、不如意ノ人ガ賣買致スノデアル、然ルニ千分ノ二十五ト云ヒ、遺產ヲ相續スルトカ、又ハ相續致ス其他ノモノヲ相續致ス者ハ、多クハ富裕ノ人デアル、ソレ故ニ富裕ニ厚クシテ、而シテ貧民ニ薄イト云フ嫌ヒガ貴族院ノ修正ニ於テハアルノデゴザイマス、故ニ是ハ一應協議會ヲ開クノガ必要ト考ヘテ居ルノデアル、而シテ貴族院ノ修正ニ依ルト、唯政府案ニ對シテ八万圓程増スノデアル、本院ノ修正ニ依ルベ、即チ是ハ五十万圓以上ノ増シニナルノデゴザイマス、因クテ是ハ協議會ヲ開イテ、相當ナル所ニ致スノガ宜シカラウト考ヘマスカラ、即チ是ハ否決ヲ致シマシテ、サウシテ協議會ヲ開クコトニ致シタノデアリマス

○鳩山和夫君(二百七十七番) 私ハ星君ノ說トマルデ正反對デアル、先キニ此登錄稅法中改正法律案ガ、本議ニ掛クタトキニハ、星君カラ咄嗟ノ間ニ動議ガ出テ、議院中ニ何ガ議題ニナツテ居ルカ、殆ド知ラヌ中ニ千分ノ七ガ千分ノ十五ニナツタ云フヤウナ話デアフタノデアル、私ハ貴族院ノ修正ガ至極其當ス得タルモノト考ヘマスカラ、何レモ貴族院ノ修正ニ同意ヲシタイト考ヘマス

○議長(片岡健吉君) ソレデハモウ採決シヤウト思ヒマス

〔採決タキト呼フ者アリ〕

○木村誓太郎君(五十番) 貴族院ノ修正ニ賛成スル理由ヲ私ハ補ヒタイト思ヒマスガ

○議長(片岡健吉君) 大體モウ是ハ議論万分ヲテ居リマスカラ、採決シヤウト思ヒマス

〔採決タキト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) ドウデスカ、大抵議論ガ分ヲテ居ルト思ヒマスガ

〔討論終結〕

〔同意スルカセヌカト云フダケノコトデアル〕

○議長(片岡健吉君) 討論終結ノ聲モアリマスガ、ドウデスカ

○木村誓太郎君(五十番) 前以テ通告シテ置キマシタ、是ハ是非貴族院ノ修正通リニヤラネバナラスト云フコトハ、本員ニ於キマシテモ此我衆議院議員ノ即チ本院ノ議フ重ズルコトニ於テハ、私ハ一步モ讓ラヌ積ニアリマス、成ルベクハ本院ノ議決ヲ重シテ、本院ノ決議通飽クマデ主張シタトイ云フコトハ、同意見デアリマス、サリナガラ此修正ニナリマシタ當時ハ、實ニ咄嗟ノ間ニ星君ヨリノ修正説が出マシテ可決ニナリマシタガ、此千分ノ七ヲ千分ノ十五ト致シマスノハ、如何ニモ他ノ税率ト比較ヲ致シマシテ不權衡ノアリマスコトハ、勿論デアリマスガ、殊ニ此著シキモノハ此第三條ト第二條トノ權衡ト云フモノハ如何デゴザイマセウ、若シモ此第二條ヲ修正シタ趣意ヲ以テ貫クナラバ、此第三條ノ所ハ何故修正ヲ爲サラヌノデゴザイマセウ、即チ此第三條ト云フモノハ、第二條ノ凡ワ半額ニシテ税率ガ立テ、アル、遺產相續及家督相續ト云フモノハ、皆此第二條ニ比例ヲ取クテアル、然ルニ第二條ダケ咄嗟ノ間ニ(此時議場騒然)修正シタノハ、缺點ト言ハザルヲ得マセヌ、是ハ是非貴族院ノ通可決ヲ希望致シマス

〔採決タキト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 採決致シマス、貴族院ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 少數

〔少數タキ又ハ「多數、大多數」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス

〔拍手起ル「異議アリ異議アリ」又ハ「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 異議ニ成規ノ贊成ガアレバ、氏名點呼ヲ致シマス

〔「異議ナシ異議ナシ」又ハ「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案ハ貴族院ノ修正ニ贊成ヲシナイト云フコトニナリ

〔マスレバ、矢張貴族院ニ向クテ協議會ヲ求ムルコトニナラウト思ヒマスガ、議長ガ十名ノ協議委員ヲ指名致シテ、御異議ハアリマスマイカ〕

○議長(片岡健吉君) 第二第三ハ地方制度ニアリマス、是ハ一括シテ議題ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 日程第二第三ヲ一括シテ議題ニ供スルト云フ動議が出来松隆慶君(九十七番) 第二第三ハ地方制度ニアリマス、是ハ一括シテ議題ニナランコトヲ希望致シマス

第三

郡制改正法律案(政府提出貴族院回付)

○星亨君(二百二十四番) 私ハ是ハ貴族院ノ修正ニ賛成スルコトガ相當ト考ヘマスノデ、何故ナラバ貴族院ノ修正ニ於テハ、吾々モ同意シナイ部分モアリマスガ、然レドモ其部分ハ是ハ協議會ヲ開イタ所ガ纏マラナイト考ヘマス、主義ノ違デゴザイマスカラ、纏マラヌト考ヘマス、然ルニ此中ニ於テ吾吾ノ平生唱ヘ來タ所ノ即チ大地主ノ制度ヲ廢シ、若クバ此複選ヲ廢シタト云フコトヲ以テ今日ハ之ヲ是非通過致シテ、實地ニ行ハナケレバナラヌノデゴザイマスカラ、萬一主義ト主義トガ衝突致シマシテ、ソレガタメニ不幸ヲ見ルト云フコトニナツテハ、吾々ノ大ニニ遺憾ト致ス所デアリマスカラ、諸君ハ幾分カ不満足デアタテモ、是ハ是非同意ニナツテ、而シテ貴族院ノ修正通リニ可決致シテ、直チニ實行ノ出來ルヤウニ致シタイト考ヘマス

(「ヒヤクノウカ又ハ「賛成」ト呼フ者アリ)

○加藤政之助君(一百七十三番) 唯今星亨君ガ貴族院ノ修正ニ同意スルト云フコトデアリマスルガ、本員等ハ貴族院ノ修正ニ同意スルコトハ出來ナインデアリマス、デ元來今マデノ實行シ來タ所ノ府縣制デハ、連記法ヲ採ツテヤツテ参ツタノデアル、然ルニ之ヲ今單記ニ貴族院テ改メルト云フコトハ、

今マデノ慣行ニ背ク、且ツ本院ニ於テ決議シタル所ノ意志ニ背キマスルノデ起立者多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

(拍手起立)

○議長(片岡健吉君) 貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ致シタイト考ヘマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本員モ格別議論モアリマスマイカラ、採決シヤウト思ヒマス日程ノ第二第三トモ貴族院ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

今マデノ慣行ニ背ク、且ツ本院ニ於テ決議シタル所ノ意志ニ背キマスルノデアリマスカラ、是ハ貴族院ノ修正ヲ否認スルコトニ致シタイト考ヘマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

(拍手起立)

○議長(片岡健吉君) 貴族院ノ修正ニ同意スルコトニナリマシタ、神鞭知常君

(神鞭知常君演壇ニ登ル)

○神鞭知常君(二百九十三番) 本員ハ議院法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、該委員會ハ昨日開キマシテ、本員委員長ニ、林彦一君理事ニ當選致シマシタ、直グニ引續キテ質問討論ヲ終ヘマシテゴザイマス、議論ハ本案廢棄ノ說ト御手許ニ出テ居ル通第十九條ノ二項ニ修正ヲ加ヘテ、本案ハ可決スルト云フノ意見ト二ツニ分レマシテ、其廢棄ニ付スト云フ方ノ說ハ、既ニ少數意見ノ提出ニモナツテ居リマスカラ、少數意見ノ報告ニ譲リマシテ、本案ヲ可決スルト云フ方ノ議論ハ、要スルニ歲費一千圓ト云フモノ其他此歲費ノ金額ノ増スコトハ過當デナイ、若シ又強テ之ヲ受ケルコトヲ甘ゼズト云フ者ハ、十九條ノ第二項ノ修正ニ依リテ、之ヲ辭スルガ宜イト云フコトニ修正シテ、之ヲ可決スルガ宜イト云フ要點ズゴザイマス、デ、即チ御手許ニ回ツテアル通可決スルコトニ決シタ譯デゴザイマス、此段御報告致シマス、ソレカラ登壇シマシタ序ニ、少數意見ノ本員モ提出者デゴザイマスカラ、其意見ヲ報告致シマス、是ハ多キ議論モナイデス、決シテ此二千圓ト云フモノ其他ノ増額ハ、強テ過多デアルカラシテ、是ハ徹頭徹尾今ノ制ノ儘ニ据エテ置カケレバナラヌト云フ議論デハゴザイマセヌ、唯此時機如何デアルガ、種々ノ

細末ナル新稅法モ加ヘマシテ、殊ニ天下ノ惡稅ト呼バクテ居ル所ノモノマデモ増加致シマシテ、漸クニ此膨脹シタル歲出ヲ支辨シテ參ラニヤナラヌト云フコトデアフテ、反對シタ者ノミナラズ、贊成シタ諸君ニ於テモ、忍ビ忍ンス、主義ノ違デゴザイマスカラ、纏マラヌト考ヘマス、然ルニ此中ニ於テ吾吾ノ平生唱ヘ來タ所ノ即チ大地主ノ制度ヲ廢シ、若クバ此複選ヲ廢シタト云フコトヲ以テ今日ハ之ヲ是非通過致シテ、實地ニ行ハナケレバナラヌノデゴザイマスカラ、萬一主義ト主義トガ衝突致シマシテ、ソレガタメニ不幸ヲ見ルト云フコトニナツテハ、吾々ノ大ニニ遺憾ト致ス所デアリマスカラ、諸君ハ幾分カ不満足デアタテモ、是ハ是非同意ニナツテ、而シテ貴族院ノ修正通リニ可決致シテ、直チニ實行ノ出來ルヤウニ致シタイト考ヘマス

(「ヒヤクノウカ又ハ「賛成」ト呼フ者アリ)

○星亨君(二百二十四番) 唯今星亨君ガ貴族院ノ修正ニ同意スルト云フコトデアリマス、デ元來今マデノ實行シ來タ所ノ府縣制デハ、連記法ヲ採ツテヤツテ参ツタノデアル、然ルニ之ヲ今單記ニ貴族院テ改メルト云フコトハ、

少數者意見ヲ提出シタ譯デゴザイマス、此案ハ雙方トモ知レ切タク案デゴザイマスカラ、日程ヲ變更セラレテ、此場合ニ決定セラレンコトヲ希望致シマス

○星亨君(二百二十四番) 唯今委員長ノ言ハレタ如ク、即チ是ハ議事日程ヲ變更セラレテ、而シテ直ニ議サレンコトヲ希望致シマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 星亨君カラ議事日程ヲ變更シテ、此本案ヲ直チニ議スルト云フ説が出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ、議事日程ヲ變更シテ直チニ議スルコトニ致シマス

議院法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續

○田中正造君(百十六番) 皆様、私ハ此修正案ニ反對致シマス、即チ少數ノ意見ヲ賛成スルノデアリマス、神鞭君が唯今御報告ニナリマシタ少數者意見ニ賛成スルノデアリマス、諸君モ御心配下サレマスル通、私ハ此鑽毒問題ヲタメニ忙殺セラレテ居リマシテ、諸君ノ平日御心配下サレマシタ所ノ此一般ノ豫算其他ノ法律等ノ問題ニ附キマシテハ、誠ニ之ヲ調査スルノ餘地モアリマセヌデ、殆ド總テノコトガ全ク以テ政治上ノコトガ、鑽毒問題ノ外ハ真闇夜デアリマス(笑聲起ル)ソレハ御笑ニナルノガ相當デアリマス、全ク鑽毒問題ノ外ハ、實ニ眞闇夜ニナフテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ諸君ノ御說ヲ贊成ヲ致シテ居ルノ餘地モアリ

日々謹聽ヲ致シ、又自ラ信ズル所ノ諸君ノ御說ヲ贊成ヲ致シテ居ルノデアル、苟モ說ノ良イ所ハ、黨派ヲ論セズ私ハ贊成スル意思ヲ以テ居ルノデアリマス(笑聲起リ「ノウカ又ハ「賛成」ト呼フ者アリ)決シテノウデナイン、左様ナ譯デゴザイマスカラ、近來ハ殆ド議場ニ於テモ、死シタル者ノ如クニナツテ居ルノデアリマス、今日此歲費ヲ增加スルト云フ原案ニ附キマシテハ、ドウ致シマシテモ一日モ御答申サンケレバナラヌノテアル、豫テ斯様ナコトハ申上ゲルマデモ言述ベナケレバナラナイ場合ニ至リマシタノデゴザイマス、決シテ長ク議論ヲ致ス譯モゴザイマセヌシ、何デモゴザイマセヌ、苟モ議員ノ一人トシテ、陞下ノ御召集ヲ受ケテ何番ノ席ヲ瀆ス以上ハ國家ノタメニナルコトナラバ、幾分デモ御答申サンケレバナラヌノテアル、豫テ斯様ナコトハ申上ゲルマデモナイ筈デゴザイマスガ、謹デ斯様ノ原案ニ對シマシテハ、御答申サンケレバナラヌノデアル、諸君モ御覽ニナツテゴザイマセヌシ、久振デ登リマシタノデゴザイマス——長ク演説スルノデモゴザイマセヌシ、久振デ登リマシタノデゴザイマスカラ、一體金ノ多イ少イヲ以テ議員ヲ左右スルト云フガ如キ文章ヲ書クガ、

一體議員ヲ輕蔑シテ居ルノデアル、申サバ是ハ侮辱デアル、此文章ヲ以テ是ガ穩當ナルモノト御解シニナル御方ハ、是ハ餘程金デナケレバ世ノ中ノコトハ一モニモナイ御方ハ卒ザ知ラズ、苟モ議員ノ品位ト云フモノハ、金ガ少イカラ資格ヲ保ツニ足リナイト言ハレテ、之ヲ耻トシナイ者ハナカラウト思ヒマス、侮辱デ、侮辱ト云フ辭ハ或ハ酷ニ失スルカ知レマセヌガ、簡短ニ議論ヲ詰メテ申セバ、極度ヲ言ハナケレバナラヌタメニ侮辱ト言フノデアル、又

今日此時節柄縱令議員ノ方テ歲費ヲ増シテ吳レト言ヲテモ、政府ハナゼ之ヲ承知スルノデアル、斯様ナ原案ヲ出スト云フモノハ、殆ド是モ酷ニ失スルカ知ラヌガ、所謂賄賂的デアル、無禮モ甚シイノデアル、今日ノ財政今日ノ地方ノ不景氣ニナシタト云フコトハ、諸君モ自ラ選舉區ヲ御持デアルカラ、御承知ノナイ方ハナイノデアル、今日田畠ノ賣買ハ、處トシテハ四割若クハ二割ト云フモノヲ下落ヲ告ゲタノデアル、故ニ例ヘバ千圓ノ抵當ヲ一千圓ノ地所ヲ抵當ニシテ金ヲ借リタ人ガ、コ、デ家ノ改革ヲスルト云フノデ、田地田畠千圓ノモノモ押附ケタノデハ、改革ハ出來ヌ、終ニ家屋駁マデモ賣ラナケレバナラヌ、處ニ依レバ二割四割ト云フ下落ヲシテ居ル、未ダ本會議決シタ案ガ實行セラレナイ中ニ最早地方ハサウ云フ狀態デゴザイマス、隨分是ヨリ諸君ガ鞄ヲ携ヘテ御歸リニナラバ、隨分驚入ル有様ニナラテ居ルト云フコトヲ諸君ハ御承知ニナルダラウト思ヒマス、諸君ハ此等ノコトモ御承知ニナラテ居ル、敢テ私ハ喋々申スマデモナシ、何モ彼モ御存ジノ諸君ニ向テ分り切ッタコトヲ申スノデハナイガ、斯様ナ事柄ニ於キマシテハ、寧ロ歲費ヲ減ズルトカ、或ハ廢止ニ至ラズトモ、從來ノ八百圓ニ代ヘルニ日當ニスルトカ、滯在費ニスルトカ云フ議論ガ出ルヨリ、今年柄ニ對シテ、或ハ相當ナル議員タル者ノ行動政府タルモノ、行動デアルダラウト思フ、諸君、御承知遊バサレル通我陸下ハ曩ニ、我陸下ハ曩ニ軍艦製造ノトキニ國費切追ノ折柄御手許金ヲ差出シニナシタデハゴザイマセヌカ、又官吏一般ハ低イ役人マデ十分一納付シタデハゴザイマセヌカ、皆其トキニ際スルノ德義デアルデ、申上グルマデモナイ、同シ金錢ノ問題デモ、經濟上ノ利害問題、又政治上ノ好惡、好シ惡シ——政治上ノ好惡問題、同シ金錢デモ之ヲ慈善家ノ手ヨリ貧民ニ與ヘル金ト、一方ニ殘酷無慘ナル高利貸ノ手ヨリ借主ニ與ヘル金ト、其性質如何、即チ堂々タル帝國議會ニ於テ歲入歲出ヲ議スル所ノ公然タル費用ヲ以テ、軍艦ヲ製造スルモノデアルノデアル、是ハ經濟上ノ利害問題デアル、經濟上ノ利害問題スラモ、我陸下ハ之ヲ德義ノ方ニ引附ケテ、御手許金ヲ支出シタト云フコトデアリマセウ、議員ノ歲費ト云フニ至ラテハ、唯普通ノ經濟ヲ以テ論ズル譯ニ往カヌ、慾得上ノ問題デハナイ、精神上ノ問題ニナラテ來ル、精神上ノ問題ニナラテ來ルト、唯ニ一ツノ算盤ヲ以テ利害ヲ議論スルコトハ往ケナクナル、御承知ノ如ク議員ハ國家ノ歲計ヲ自ラ之ヲ増減スルノ大權利ヲ持ツテ居ル以上ハ、自分が取ル所ノ歲費ニ至ラテハ、是ハ取ツテモ宜イノデモ、萬々取フテモ宜イノデモ、自ラ是ヲ謹マナケレバナラヌ、若シソレ國家が富ンデ租稅モ減ズル、總テ租稅ヲ安クスルコトニナラバ、或ハ我國家が舉ゲテ議員ノ歲費モ高クシテヤツテモ宜イデハナイカ、多クシテヤツテモ宜イデハナイカト、國民ノ聲ガ立ツテ來テモ、議員タル者ハ容易ニ増加スルコトハ出來ナイ、ソレガ議員ノ品位デアル、議員ノ資格デアル、是ガ即チ議員ノ資格デアリテ、八百圓デハ足リナイカラ、二千圓ニスレバ、議員ノ資格ガ保テルトハ、何等ノ不都合ナル原案デアルカ、何等ノ理由デアルカ、斯ノ如キ考

〇星亨君(二百二十四番) 私が今度番デ登ラタノデスデ、唯今問題ニナラニ以テ天下ヲ料理サレテタマルモノデアルカ、然ルニ議員ハ德義上ノ精神上ノ此問題ニ對シテ、金錢ノ多イ少ニ以テ資格ヲ定メラル、ト云フヤウナコトデ、此議會ヲ通過スルト云フヤウナコトガ、若シゴザイマシテハ、實ニ上ノナイ方ハナイノデアル、今日田畠ノ賣買ハ、處トシテハ四割若クハ二割ト云フモノヲ下落ヲ告ゲタノデアル、故ニ例ヘバ千圓ノ抵當ヲ一千圓ノ地所ヲ抵當ニシテ金ヲ借リタ人ガ、コ、デ家ノ改革ヲスルト云フノデ、田地田畠千圓ノモノモ押附ケタノデハ、改革ハ出來ヌ、終ニ家屋駁マデモ賣ラナケレバナラヌ、處ニ依レバ二割四割ト云フ下落ヲシテ居ル、未ダ本會議決シタ案ガ實行セラレナイ中ニ最早地方ハサウ云フ狀態デゴザイマス、隨分是ヨリ諸君ガ鞄ヲ携ヘテ御歸リニナラバ、隨分驚入ル有様ニナラテ居ルト云フコトヲ諸君ハ御承知ニナルダラウト思ヒマス、諸君ハ此等ノコトモ御承知ニナラテ居ル、敢テ私ハ喋々申スマデモナシ、何モ彼モ御存ジノ諸君ニ向テ分り切ッタコトヲ申スノデハナイガ、斯様ナ事柄ニ於キマシテハ、寧ロ歲費ヲ減ズルトカ、或ハ廢止ニ至ラズトモ、從來ノ八百圓ニ代ヘルニ日當ニスルトカ、滯在費ニスルトカ云フ議論ガ出ルヨリ、今年柄ニ對シテ、或ハ相當ナル議員タル者ノ行動政府タルモノ、行動デアルダラウト思フ、諸君、御承知遊バサレル通我陸下ハ曩ニ、我陸下ハ曩ニ軍艦製造ノトキニ國費切追ノ折柄御手許金ヲ差出シニナシタデハゴザイマセヌカ、又官吏一般ハ低イ役人マデ十分一納付シタデハゴザイマセヌカ、皆其トキニ際スルノ德義デアルデ、申上グルマデモナイ、同シ金錢ノ問題デモ、經濟上ノ利害問題、又政治上ノ好惡、好シ惡シ——政治上ノ好惡問題、同シ金錢デモ之ヲ慈善家ノ手ヨリ貧民ニ與ヘル金ト、一方ニ殘酷無慘ナル高利貸ノ手ヨリ借主ニ與ヘル金ト、其性質如何、即チ堂々タル帝國議會ニ於テ歲入歲出ヲ議スル所ノ公然タル費用ヲ以テ、軍艦ヲ製造スルモノデアルノデアル、是ハ經濟上ノ利害問題デアル、經濟上ノ利害問題スラモ、我陸下ハ之ヲ德義ノ方ニ引附ケテ、御手許金ヲ支出シタト云フコトデアリマセウ、議員ノ歲費ト云フニ至ラテハ、唯普通ノ經濟ヲ以テ論ズル譯ニ往カヌ、慾得上ノ問題デハナイ、精神上ノ問題ニナラテ來ル、精神上ノ問題ニナラテ來ルト、唯ニ一ツノ算盤ヲ以テ利害ヲ議論スルコトハ往ケナクナル、御承知ノ如ク議員ハ國家ノ歲計ヲ自ラ之ヲ増減スルノ大權利ヲ持ツテ居ル以上ハ、自分が取ル所ノ歲費ニ至ラテハ、是ハ取ツテモ宜イノデモ、萬々取フテモ宜イノデモ、自ラ是ヲ謹マナケレバナラヌ、若シソレ國家が富ンデ租稅モ減ズル、總テ租稅ヲ安クスルコトニナラバ、或ハ我國家が舉ゲテ議員ノ歲費モ高クシテヤツテモ宜イデハナイカ、多クシテヤツテモ宜イデハナイカト、國民ノ聲ガ立ツテ來テモ、議員タル者ハ容易ニ増加スルコトハ出來ナイ、ソレガ議員ノ品位デアル、議員ノ資格デアル、是ガ即チ議員ノ資格デアリテ、八百圓デハ足リナイカラ、二千圓ニスレバ、議員ノ資格ガ保テルトハ、何等ノ不都合ナル原案デアルカ、何等ノ理由デアルカ、斯ノ如キ考

〇星亨君(二百二十四番) 私が今度番デ登ラタノデスデ、唯今問題ニナラニ以テ天下ヲ料理サレテタマルモノデアルカ、然ルニ議員ハ德義上ノ精神上ノ此問題ニ對シテ、金錢ノ多イ少ニ以テ資格ヲ定メラル、ト云フヤウナコトデ、此議會ヲ通過スルト云フヤウナコトガ、若シゴザイマシテハ、實ニ上ノナイ方ハナイノデアル、今日田畠ノ賣買ハ、處トシテハ四割若クハ二割ト云フモノヲ下落ヲ告ゲタノデアル、故ニ例ヘバ千圓ノ抵當ヲ一千圓ノ地所ヲ抵當ニシテ金ヲ借リタ人ガ、コ、デ家ノ改革ヲスルト云フノデ、田地田畠千圓ノモノモ押附ケタノデハ、改革ハ出來ヌ、終ニ家屋駁マデモ賣ラナケレバナラヌ、處ニ依レバ二割四割ト云フ下落ヲシテ居ル、未ダ本會議決シタ案ガ實行セラレナイ中ニ最早地方ハサウ云フ狀態デゴザイマス、隨分是ヨリ諸君ガ鞄ヲ携ヘテ御歸リニナラバ、隨分驚入ル有様ニナラテ居ルト云フコトヲ諸君ハ御承知ニナルダラウト思ヒマス、諸君ハ此等ノコトモ御承知ニナラテ居ル、敢テ私ハ喋々申スマデモナシ、何モ彼モ御存ジノ諸君ニ向テ分り切ッタコトヲ申スノデハナイガ、斯様ナ事柄ニ於キマシテハ、寧ロ歲費ヲ減ズルトカ、或ハ廢止ニ至ラズトモ、從來ノ八百圓ニ代ヘルニ日當ニスルトカ、滯在費ニスルトカ云フ議論ガ出ルヨリ、今年柄ニ對シテ、或ハ相當ナル議員タル者ノ行動政府タルモノ、行動デアルダラウト思フ、諸君、御承知遊バサレル通我陸下ハ曩ニ、我陸下ハ曩ニ軍艦製造ノトキニ國費切追ノ折柄御手許金ヲ差出シニナシタデハゴザイマセヌカ、又官吏一般ハ低イ役人マデ十分一納付シタデハゴザイマセヌカ、皆其トキニ際スルノ德義デアルデ、申上グルマデモナイ、同シ金錢ノ問題デモ、經濟上ノ利害問題、又政治上ノ好惡、好シ惡シ——政治上ノ好惡問題、同シ金錢デモ之ヲ慈善家ノ手ヨリ貧民ニ與ヘル金ト、一方ニ殘酷無慘ナル高利貸ノ手ヨリ借主ニ與ヘル金ト、其性質如何、即チ堂々タル帝國議會ニ於テ歲入歲出ヲ議スル所ノ公然タル費用ヲ以テ、居ルト云フヤウナ御考ノ方モアリマスケレドモ、サウ致サナイデ、評論スル所ハ宜シク討論致シテ宜カラウト考ヘルノテアルト云フ感ヲ起シタノデアル、ソレデ第一ニ此問題ハ、果シテ歲費ハ受クベキモノデアルカ、歲費ハ受ケベカラザルモノデアルカ、歲費ナシカノ問題ノ出タル時分ニハ、成ルタケコソノシテ居ルト云フヤウナ御考ノ方モアリマスケレドモ、サウ致サナイデ、評論スル所ハ宜シク討論致シテ宜カラウト考ヘルノテアルト云フ感ヲ起シタノデアル、ソレデ第一ニ此問題ハ、果シテ歲費ハ受クベキモノデアルカ、歲費ハ受ケベカラザルモノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多ノデアル、或ハ歲費トシ、若クハ手數トシテ皆受ケテ居ルノデゴザイマス、又ハ亞米利モノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多ノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多ノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多ノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多ノデアルカト云フ議論ニナルデアラウト思フ、是ハ固ヨリ歲費ハ受クベキモノニシテ、與フベキモノト云フコトハ、既ニ定論ニナラテ居ルノデゴザイマス、即チ外國デ申シテ見レバ、歐羅巴デハ獨逸ト西班牙ト伊太利ノ外ハ或多或少ノモ足ラナイト言ハナケレバナラヌノデアル、サウスレバ即チ是ハ當然ノ話デアルノデアル、斯ウ云フヤウニ

論定スレバ、諸君ハヒヤノト言フノ外ハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアル、
サウスルナラバ、即チ今日ノ歳費ハ殆ド日本ノ役人ノ屬官ノ二等目位ナモノダ
ト言ハナケレバナラナイ、地方テ言ヘバ郡長ト同額ノモノ
デアルト言ハナケレバナラナイ、サレバ既ニ歳費ハ是ナリトシタナラバ、何ゾ
都長ト同ジモノヲ貰テ悦ンデ居ル人間ガアルモノカ、即チ屬官ト同ジモノ
ヲ貰テ喜ンデ居ル必要ガアルカ、斯ウ言フタラバ諸君ハ又然リト答ヘザル
ヲ得ヌト思フノテアル、ソレナラバ既ニ不足ナリトスルコトハ、私ガ喋々ス
ルノ必要ヲ見ナイ、諸君ハ自ラ感シテ居ルノデアル、サレバ既ニ不足デアル
ト言フタナラバ、増スト云フ結果ハ來ルノデアル、唯コ、ニ議論ノ起ルノハ、
委員長ノ神鞭君ノ少數ノ意見ニ於テ言フタシ、田中君ハ言フタカ言ハヌカ、
ソレハ私ハ聽キマセヌデゴザイマシタガ、詰リ今日ハ税ヲ餘計ヲ取フタトキデ
アルカラ、其トキニ於テ増サナイ方ガ宜イデハナイカト云フ議論ニ歸著スル
ニ外ナイト考ヘルノデアル、斷然取ルベカラズト云フ議論ナラバ、八百圓モ
御ヨシナサイト言ハナケレバナラナイ、サウスレバ御廢シナサイト言ハナケ
レバナラナイ、サウスレバ詰リ今日租税ヲ餘計ヲ取フタトキデアルカラ、ヨシ
タ方ガ宜イ、是ハ私ガ言フテ見ルト、宋襄ノ仁——婦人ノ考ト言ハナケレバ
ナラヌト思フノデアル、税ヲ取フタカラ其際ニ於テダカライケナイ、税ヲ取
ラナイ時分ナラバ、宜イト言ハナケレバナラヌト思フ、然ラズト言フデゴザ
イマセウガ、サウ結論スルノ外私ハナイト考ヘテ居ルノデアル、ソレナラバ
果シテ税ヲ取フタガ、ナゼ惡ルイ、今日ノ有様デ固ヨリ國家ガ盡ス義務ガアルト
シテモ、新税ヲ起スマデノ必要ハ認メナインデアル、併シ又茲ニノ議論ハ、新税
ヲ起シテマデ歳費ヲ補足スルノ必要ハナインデアル、斯ウ云フ議論ノ起ルハ、
御尤デゴザイマス、私共モ新税ヲ起シテ——ナンボ國家ガ盡ス義務ガアルト
シテモ、新税ヲ起スマデノ必要ハ認メナインデアル、併ナガラサウデハナイ
ノデアル、既ニ税ガ出來テ居ル、其税ノ中カラ拂フト云フノナラバ、新税ヲ
起スノデハナインデアル、或ハスウ云フコトヲ言フカモ知レナイ、サウデハ
ナイ、ソレヲ即チソレダケ殖エタナラバ、税ヲ減ジタラ宜イデヤナイカト云
フ議論ガ出ヤウカト考ヘル、ワレヨリ外ニナイカト考ヘルノデアル、其コト
ハ宜イガ、何シテモ新税ヲ取フテ歳費ヲ増スニアラズシテ、既ニアル所ノ税
ヲ以テ増スノデアル、斯ウ云フコトニナルノデアル、ソレカラシテ是ガ幾ラ
増スカト云フコトガ起ルノデアル(「ノウ」ト呼フ者アリ)静ニ御聽ナサ
イ、諸君ガ幾ラ亂暴シテモ、一向私ハ構ハヌノデアル、唯諸君ガ言ヘバ、諸
君ノ腸ヲ抉ルコトガ度々アラウト考ヘル、黙フテ御イデナサルナラバ、黙ッテ
居リマス、即チ諸君ニ於テ此歳費ハ幾ラ増スカト云ヘバ、今日ノ所デハ一年
ニ六十六万何某ト云フノデゴザイマス、サウシテ今度ハドウカト云ヘバ、其
半分三十三万圓デゴザイマス、サレバ全體増シタ所ガ我國ノ四千万人ノ人民
ニ割附ケテ見ルト、タツタ一錢六厘デアルノデアル、又モウ一ツ半年デアル
ト八厘デアルノデアル、此八厘ハ増スノデハナイガ、既ニ増シテアル中カラ
拂フノデアル、諸君、吾ミノ人民ガ——吾ミガ代表スル人民ニ於テ、其代議
士トシテ天下ノ事ヲ議セシムルニ當クテ、マサカ八厘トカ一錢六厘ヲ惜ムト
云フヤウナ、諸君ノ反對者ノ人民ニハアルカモ知レマセヌガ、吾ミノ人民
ニハナイノデアル、即チ吾ミノ愛スル所ノ人民ハ、喜デ之ヲ迎ヘテ居ルノデ
ゴザイマス、寧ロ吾ミノ人民ハ代議士ヲ選ブニ當クテ、却テ自分カラ費用ヲ
使ヒ手間ヲ潰シテ、サウシテ代議士ヲ選ンデ國家ノタメニ盡力サセルト云フ

コトニナツテ居ルノデアル、サウスレバ斯ウ云フヤウナ人民ハ、吾ミノ人民デ
アルノデアル、反對人民ハサウデナイカモ知レナインデアル、サラバ誠ニ僅
ト言ハナケレバナラヌノデアル、又然レドモサウ云フコトニシテモ、
ト思フノデアル、吾ミ人民ハ固ヨリ國家ノタメナレバ、今マデモ諸君モ知ラ
ル、如ク、吾ミハ生命財産ヲ惜マナインデアル、即チ私共ニスレバ隨分ヒ
イ目ニ逢ツテ居ルノデアル、又吾ミノ朋友ハ斷頭場裡ノ鬼トナツテ居ルノモ
幾ラモアルノデアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルカラ、即チ國家ノタメナラ
バ、吾ミハ何トモ言ハヌノデアル、併ナガラ國家自ラト云フ側カラ考ヘテ見
タナラバ、國家ハ之ニ向クテ即チ自ラノ金マニテ使ヒ、自ラノ勞マニテ使ツテ、
サウシテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、國家ハ望ムベキモノデナイ、望
ム權利ガナイト考ヘルノデアル、故ニ此政府ガ即チ歳費ヲ出シタト云ツテ何
ノムヅカシイコトガアルカ、何ノ異論ガアルカト思フノデアル、殊ニ吾ミノ
國即チ我邦ノ輿論ト云フセノハ、ドウデアルカト云ヘバ、歳費ハ少イニ依
テ、是ハ増サナケレバナラヌト云フコトハ、輿論ナリト言ハナケレバナラヌ
(「ノウ」ト呼フ者アリ)唯進歩黨ノ人間ノ方ノ新聞ナンカデハ、輿論デナ
イト思ツデ居ルカ知レナイガ、即チ日本ノ輿論ハ私ノ言ツタ如キモノデアル
ト言ハナケレバナラヌノデアル(「ノウ」ト呼フ者アリ)サウシテ又是ハ歳
費ヲ即チドノ内閣ガ考ヘタカト云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、即チ此處ニ
ハ進歩黨ノ諸君モ居ルガ、大隈ノ内閣ガ此歳費ヲ考ヘタノデアル(「ヒヤ」
ト呼フ者アリ)大隈板垣ノ内閣ガ此歳費ノコトハ考ヘタノデアル、即チ其歳
費ヲ出サント致シタトキニハ、矢張今ノ税ハ取ラナケレバナラヌコトニナツ
テ居フタノデアル(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)唯地租ト云フモノト間税ト云フ
モノトノ差ハゴザイマシタケレドモ、豫算ニ於テハ三千五百万足ラナカツ
ノデアル、此税ヲ取ルノハ即チ大隈ノ内閣ガ取ル積ニアツタノデアル、
其取ルトキニ當クテ矢張歳費デ出ス積ニアツタノデアル、サウスレバ今日
山縣内閣ニナツテ租税ヲ取フタ時分ニハ、歳費ヲ出スノハ不都合ナリ、大隈
ノ内閣ノトキハ租税ヲ取フタ歳費ヲ出シテモ宜シト云フヤウナ論理ハ、天
下ニ恐ラクバナカラウト、私ハ考ヘテ居ルノデアル(田中正造君)何時サウ云
フコトヲシタ(「ト呼フ」)何時サウ云フコトヲシタ云フコトノ田中君ノ御問
ハ、田中君ノ先輩所謂前ノ内閣員ニ御問ニナツタナラバ、一番能ク分ルコト
デアラウト思フノデアル、即チサウ云フコトニナツテ居リマスレバ、我邦ノ
輿論然リ、我邦ノ前ノ内閣皆然リ、前ノ内閣ハ自ラ政黨内閣ト稱シタ其政黨
院ヲ見タ時分ニハ、其歳費ノ論ニ於テハ、皆自由ノ説ヲ持ツテ居ルモノデ、
内閣ガ、自ラ取ラウト言フタノデアル、是ハ誠ニ尤モナ話デ、大隈ノシタコ
トデ僕ノ賛成スルモノハ、一つモナイガ、是ダケハ賛成シナケレバナラヌノ
デアル(拍手スル者アリ笑聲起ル)ト云フコトハ、即チ私が英吉利ニ於テ議
院ヲ見タ時分ニハ、其歳費ノ論ニ於テハ、皆自由ノ説ヲ持ツテ居ルモノデ、
内閣ガ、自ラ取ラウト言フタノデアル、是ハ誠ニ尤モナ話デ、大隈ノシタコ
トデ僕ノ賛成スルモノハ、一つモナイガ、是ダケハ賛成シナケレバナラヌノ
費增加ノ議論ヲ致シ、腹ノ中ニ一方ドクサリ入レテ居タル人間ハ、シナカラ
タノデアルトスレバ、大隈内閣ノシタコトハ、是ガ一番宜シイコト、考ヘマ
スカラ、満腔ノ熱心ヲ以テ賛成ヲ致スノデゴザイマス(笑聲起ル、拍手スル者
アリ)諸君ニ於テハ我邦ノ輿論ト云ヒ、又國家ガ許スベカラザルモノト云ヒ

又人民が喜び出でスト云フノニ、ナゼグヅヘ御言ヒニナルノデゴザイマスカ、然レドモ是ハ諸君ニ於テ所謂御考次第ゴザイマスカラ、御辭シニナルコトハ、敢テ私ハ不同意ハ申サヌデアリマスカラ、十九條ノ一項ノ「ス」ト云フ字ヲ一字削除致スコトニ賛成ヲ致スノデゴザイマス、此「ス」ト云フ字ハ、誠ニ一字ニアリマスガ、即チ諸君ガ國家ノタメト自ラ考ヘテ、御取ニナラヌト云フナラバ、御自由ニ御取ナサラヌデモ宜シイ、大藏省ナンカハ誠ニ喜ブデアラウト私ハ考ヘテ居ル、即チ諸君ノ中ノ半分程ガ、御取ニナラナケレバ、一年ニハ實ニ三十万程違ヒマスカラ、誠ニ喜ブト考ヘマスル、併ナガラ諸君ノタメニ諸君ノ中ノ此反対者ノタメニハ、逃路ヲ開ケルコトニ、私ハ贊成致シタノアル、是デ私ハ私ノ趣意ヲ盡シタト考ヘテ居リマス

○議長(片岡健吉君) 島田三郎君

〔討論終結討論終結ト呼フ者アリ〕

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○島田三郎君(二百五十五番) 討論終結ノ聲ノ出マセヌ中ニ、本員ガ發言權ヲ得マシタカラ、本員ノ說ヲ述ベマス(「ヤルベシ」ト呼フ者アリ)、本員ハ全ク委員會ノ少數意見ニ賛成ヲ致ス者デゴザイマス、星君ハ誠ニ思切クテ自説ヲ述ベラレタノニ、私ハ誠ニ說ニハ反対デゴザイマスルガ、遺ス所ナク述ベラレタコトニ附イテ感謝スルノデゴザイマス、第一ニ注意ヲ申シタイト思ヒマスノハ此案ニ附イテ進歩黨ノ諸君ガ反対デアルガタメニ、星君ハ此案ハ大隈内閣ノトキニ出タ案デ、表ニ現レヌノデアラタト言ハレマスガ、丁度私ハ(此トキ發言スル者アリ) 暫ク御聽下サイ、本員ハ丁度其トキニハ星君等ト矢張列ヲ爲シテ、憲政黨ニ居タル者デゴザイマスガ、本員ハ朋友ヲシテ過ヲ爲サシメヌガタメニ、即チ當時ノ憲政黨内閣ヲシテ、天下ニ望ヲ失ハシメヌガタメニ、善ヲ朋友ニ責メルノ義ヲ以テ、コニ反対ヲシタ者デゴザイマスカラ、本員ハ星君ノ彼ノ言葉ヲ更ニ引用致シマシテ、當時ノ如ク尙ホ反対スルコトニ十分ノ理由ヲ持テ居ルト云フコトヲ星君ニ御断ヲ致シマス、斯ノ如キコトヲ以テ議論ノ幅ヲ極メラルト云フコトハ、殘リナク打出サル、星君ニシテ、甚ダ面白カラヌ議論デアルト私ハ思ヒマス、第二ニハ英國ノ例ヲ引イテ、英國ニ於テ一方ノ論者ハ歲費ヲ増スト云フコトハ、寧ロ英國デハ歲費ヲ作ルト言テモ宜カラウト思ヒマス、一方ニ於テハ之ヲ増スベカラズ、即チ歲費ヲ與ベカラズト云フコトデ、議論ガアラタト私ハ思ヒマス、第三ニハ想起スト言ハレマシタガ、英國ニ於テ郵便料金若クハ鐵道貨錢電話料マデモ上ゲテ、國民ガ殆ド交通ノ自由ヲ失フマデノ窮迫ヲ爲シテ居ル時代ニ、議院ガ斯ノ如キ議論ヲ爲シタト云フコトハ、私ハ聞カヌノデアル、即チ少數意見者ガ今日ニ於テ最モ不可ナリト言ハレタノハ、此點デアラウト本員ハ考過般本員ガ委員長トシテ報告ヲ致シマシタ營業稅ニ關係シテ、營業稅改正ニヘマスカラ、是等ノ議論ハ削除セラレテ、然ルベキ語氣デアラウト、私ハ考ヘマス、星君ハ不同意ヲ稱ヘラレテ、不足如何ト云フノ問ヲ發セラレタルトキニ、帳面上其不足ヲ如何ニスルヤ、即チ金ガナイ故ニ、改正スベキモノガ改正ガ出來ヌト云フ同ジ語氣ニ解釋シテ然ルベキモノデアラウト思ウテ居リマス、斯ノ如ク取ルベカラザルモノヲ取りツ、アル、此會期ニ於テモ醤油稅

ノ如キ、未來ニ於テ郵便料ヲ上ゲル、既ニ鐵道電信モ内定シテ居クテ、世ノ中ニ知渡シテ居ルノデゴザイマスガ、斯ノ如キ世ノ中一般ニ評シテ、定テ自由黨ノ選舉人モ之ヲ善良ナル制度トハ思ヒマスマイ、然ラバ星君ハ其黨ノ者共ハ議員ニ對シテ歲費ヲ増スト云フコトハ、喜ブノデアル、天下ノ輿論デアルト言ハレマシタガ、若シ郵便電信鐵道電話等ノ如キモノヲ是認スル國民デアルヌト云フナラバ、御取ニナラヌト云フコトヲ懸念スル者ナラバ、取ルベカラザル者ヲ奪取ッテ、ブデアラウト私ハ考ヘテ居ル、即チ諸君ノ中ノ半分程ガ、御取ニナラナケレバ、一年ニハ實ニ三十万程違ヒマスカラ、誠ニ喜ブト考ヘマスル、併ナガラ諸君ノタメニ諸君ノ中ノ此反対者ノタメニハ、逃路ヲ開ケルコトニ、私ハ贊成致シタノアル、是デ私ハ私ノ趣意ヲ盡シタト考ヘテ居リマス

議員ノ私ヲスルト云フ判決ヲ下スト、本員ハ思ヒマス、本員ハ第一ニ政府ノ無責任ヲ咎メナケレバナラヌ、井上君ハ巧ニ此議案ノ出デタル前置トシテ、質問書ヲ發セラレテ、政府ニ餘裕アリト言ハレマシタガ、本員ハ井上君ノ言ヲ信セヌヨリ、先以テ政府ガ大藏大臣ヲシテ、斯ノ如キコトヲ議會ニ言ハシメタル其同ジ大藏大臣ヲシテ、見込ナキ所ノ歲費增加ノ案ヲ發セシメタト云フコトハ、無責任極マル所ノ所置デアルト言ハナケレバナラヌノデアル、監獄費國庫支辨ト言ヒ、營業稅改正法ト言ヒ、斯ノ如キモノハ皆爲スペキコトデアルト云フ一點ニ依テ國民皆不便ヲ感シテ居ルノデゴザイマセウ、監獄費デアルト云フ、餘裕カアレバ爲サネバナラヌコトデアルガ、奈何セン今日歲計不足國庫支辨ニ附イテハ、此議院ガ多數ヲ以テ國庫ノ支辨ニ歸シタイト云フコトヲ議決シタ同ジ議會デアル、尙ホ迦フテ申シマスレバ、此議會ガドウシテモ同シ議會ニ於テ、斯ノ如キコトノ議決ガ出來ナイ證文ヲ出シテ居ルノハ如何デアル、現在高等農商工會議、是ニハ手當ノアラタモノデアル、是ハ政府ガ手當ヲ附ケテ出シタノヲ政費節減ノ趣意ヲ以テ此議會ガ、本年ハ無給ニ議決シタノデアル、高等教育會議員ノ手當モ然リ、鐵道會議員ノ手當モ亦然リ、ソレヨリシテ國有鐵道ノ調查委員ハ、政府ノ原案ニハ手當ヲ置イタノヲ此議會ハ矢張同一ノ精神ヲ以テ削ッタノデハゴザイマセヌカ、若シ斯ノ如キ者ニ報酬スルノ義アリト爲サバ、何故ニ此等ノモノヲ削ッタカ、之ヲ削ッタ意味ハ即チ政費ノ節減上國民モ不便ヲ忍ブヘシ、國民ノタメニ働く者モ亦不便ヲ忍ブベシト云フ、瓦ニ公ノタメニ、已ヲ節シテ國ニ酬ユルト云フ精神ヲ議會ヘ現ハシタノデアル、即チ此等ノ行政官ノ顧問タル諸君ニ對シテ、不便ヲ忍ベヨト、此議會ガ國民ノ聲ニ代クテ言ヒ現ハシタル決議デハゴザイマセヌカ、然ルニ同ジ議會ニ於テ、社會ガ是ニ酬ユルノ義務アリ、我之ヲ取ルノ權利アリト云フノハ、甚ダ矛盾シタル判決ト言ハナケレバナラヌ、且ツ斯ノ如キモノヲ以テ議員ノ資格ヲ附ケルノ、議員ノ品格ヲ上ゲルノト云フコトハ、大イナル誤デアラウト思ヒマス議員自ラ進デ候補ト立ツテ世ノ中ニ現レテ、ソレヨリ議會ニ臨ム者デアリマスカラ、ソレナラバ議員ノ方ノ辭スル辭セナイヤ、議員タルトキニ社會ニアルモノデゴザイマスカラ、ナックタル以上ハ此品位ヲ上ゲルタメニ必要デアルト云ウテ今日斯様ナル場合ニ増稅ヲ爲シテモ、尙ホ星君ハ增稅ヲナシタ過去ノモノニ附イテ云ハレマシタガ、本員ハ尙ホ繰越シテ言フ、增稅ヲ爲シタル同ジ議會ガ、其爲シタル結果ヲ以テ議員ノ報酬ヲ増スト云フコトハ、天下ニ向クテ言フベカラザルコトデアラウト思ヒマス、承ル所ニ依レバ、支那朝鮮ニハ養廉銀ト云フモノガアツテ役人ノ廉節ヲ養フタメニ特別ノ報酬ヲ與ヘルト云フコトヲ承フテ居ル、併ナガラ支那ノ役人ハ必ズ廉節ナリト云フコトハ出來ナイノデ、是ハ人ニ依ッテ岐レル所ノ問題デ、俸給ノ上ノ依テ岐レル問題デハナイト思フ、今日議員ノ品格ヲ上ゲルト云フニ、僅ニ二千圓ヲ以テ上ゲ得ルト云フナラバ、サウ云フモノハ上ゲナイデモ

宜カラウ、上ダナイテ前年ノ程度ニ止メテ置イテ、本人ノ隨意ニ任スル、ソレヨリ外ニ致方ガナイ、豊カナレバ其人ノ廉節ノ氣ヲ高メルコトヲ本員信ズ

ルコトノ出來ナイノハ、不祥ナル例デハゴザリマスケレドモ、各地方ニ行レ

マスル多額納稅議員、即チ我國ニ於テハ最モ富ンダル階級ノ人ノ選舉ニモ、時

金鎖上ノ怪シキ風聞ヲ承ルコトデゴザイマスカラ、此等ノコトハ一般ノ氣

風、人ニ依クテ岐レル問題デアッテ一般ノ廉節ヲ勵マスト云フ氣象ニナリマス

レバ、自然斯ノ如キ惡習ハ消エ失セルモノデアッテ、故ラニ豊カト云フ

豊ト云フ文字モ使ヘマセヌカ知リマセヌガ、豊ニシタカラ、此風ヲ勵マスト云

フコトハ、却テ反對ノ實績ヲ現スデアラウト本員ハ考ヘル、斯ノ如キ譯デ若

シ此度合ヲ以テ進ミマスレバ、唯今ノ行政ノ予預テ居ル人モ報酬ヲ増サ

ナケレバナラヌコトガ起ルデアラウト思フ、六千圓ノ大臣甚ダ氣ノ毒デア

ル、四千八百圓ノ次官甚ダ氣ノ毒デアル、併ナガラ今日ノ場合ニ於テ若シ行

政官ノタメニ俸給ヲ上ゲルト云フ議案ガ出タナラバ、諸君亦國民ノ聲トシ

テ、必ズ增加スペカラズト、之ヲ是認セラル、ニ相違ナイ、是ガ道理デアル

ナラバ、議會自ラ又是認セザルベカラズト本員ハ考ヘル、吳レタモ少數意

見ノ如ク、此時期ニ於テ斯ノ如キ議案ハ排斥セラレントコトヲ望ムノデアル、

斯ノ如キ理由ヲ以テ星君ノ主張セラル、本案ノ多數意見ニハ反對デゴザイマ

ス、井上角五郎君(百八十一番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○松本正友君(百十一番) 私ハ意見ヲ述べ

○議長(片岡健吉君) 何ノ意見デス

○松本正友君(百十一番) 此問題ニ附キマシテ、吾ミノ總務委員トモ戴イタ

ル星君ノ演説ニ附キマシテハ甚ダ私ハ——本案ニ附イテノ意見ガアル

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテノ意見ナレバ、通告ガアリマス、通告ノ

順ニ依ラナケレバナリマセヌ——討論終結ノ動議ガ出マシタカラ、決ヲ採リ

マス、討論終結ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス

○議長(片岡健吉君) 百七十七番 採決ノ方法ニ附イテ、動議ヲ提出致シマス

○議長(片岡健吉君) 採決ノ方法ニ附イテハ、無名投票ヲ以テスルト云フ要

求ガゴザイマスカラ

○議長(片岡健吉君) 二百七十七番 私ハ記名投票ヲ以テ決スルコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 二百七十七番 然ラバ記名若クバ無記名ヲ議場ニ諸ハレンコトヲ望ミマス

○議長(片岡健吉君) 此所ニ無記名投票ニシヤウト云フ要求ガゴザイマス、

今鳩山和夫君カラ記名投票デ此採決ヲシヤウト云フ動議ガ出マシタ、之ヲ記

名ニスルカ無記名ニスルカト云フコトハ、無記名投票ヲ以テ決スルコトニ致

レマス、閉鎖——尙ホ宣告ヲ致シテ置キマスルガ、無記名投票ニシヤウト云

フ人ハ白球、記名投票ニシヤウト云フ人ハ黒球ヲ入レルコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 聽エナイト云フコトデアリマスカラ、モウ一度宣告致

シマス、無記名投票ニ同意ノ諸君ハ、白イ球ヲ入レマス、記名投票ニ同意ノ

諸君ハ、黒イ球ヲ入レルコトニ致シマス——氏名點呼ヲ始メマス

(廣瀬書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(片岡健吉君) 投票漏ハアリマセヌカ——開鎖——是ヨリ開匣ヲ致シ

マス

(書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス)

○議長(片岡健吉君) 球ノ數ト名刺ノ數ガ符合致シマスカラ、投票ノ結果ヲ

御報告致シマス

出席總數二百六十一

白球 百三十四

黑球 百二十七

○議長(片岡健吉君) 無記名投票ト云フコトニナリマシタ

○恒松隆慶君(九十七番) 此二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトヲ記名無記名デ

致シマス、第一讀會ヲ開カウト云フ諸君ハ白イ球ヲ入レルコトニ致シマス、

之ニ反對ノ第二讀會ヲ開クベカラズト云フノ諸君ハ黒イ球ヲ入レルコトニ

致シマス——氏名點呼ヲ始メマス

(間違テ居ル間違テ居ルト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 閉鎖——本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ附イテ採決ヲ

致シマス、報告致シマス

○議長(片岡健吉君) 投票漏ハアリマセヌカ——開鎖、是ヨリ開匣ヲ致シマ

ス (書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス)

○議長(片岡健吉君) 球數ト名刺ノ數ト符合致シマスカラ、投票ノ結果ヲ御

報告致シマス

(寺田書記官氏名ヲ點呼ス)

出席總數二百五十九

白球 百三十四

黑球 百二十五

○議長(片岡健吉君) 木案ハ第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○恒松隆慶君(九十七番) 別ニ唯今修正說等モ申込ガアルデゴザイマスカ

致シタイト思ヒマス、此問題ニ附キマシテハ一讀會ニ於キマシテ雙方贊否モ

ゴザイマシタガ、此以上論シマシテモ幾ラ口デ公平ナコトヲ述ベマシテモ、其

人ノ平素ノ行動品位如何トカ色ミナコトヲ判斷ヲ致シマスト、隨分事實ニ附

イテ見マスルト、サウ感シナイコトガアルガ、是ハ兎ニ角早ヤ十分一讀會ニ

テ議論ガアッタモノデゴザイマス、ソコデ

(演壇デト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ動議ガ出マシタ、直チニ二

讀會ヲ開クコトノ動議ヲ出シマス

○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトノ動議ガ出マシタ、直チニ二

讀會ヲ開クコトニ致シマス

(贊成タクノ聲起ル)

讀會ヲ開クコトニ御異議アリマスマイカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、全部ヲ議題ニ供シマス、朗讀ヲ省略致シマス

議院法中改正法律案

第二讀會

○恒松隆慶君(九十七番) 此場合討論ヲ要セズ、直チニ決セラレンコトヲ望ミマス、十分一讀會デ議論ハ盡キタコトデゴザイマス、又委員ノ修正ハ極道道ガアリマスカラシテ、イラナイ人ハドシノ御取ナサラヌ方ガ宜カラウト思ヒマス

○松本正友君(百十一番) 唯今ハ二讀會デゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 何デスカ

○松本正友君(百十一番) 二讀會デゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 一讀會デス

○松本正友君(百十一番) 私ハ修正ヲ加ヘマス

(演壇デ演壇デト呼フ者アリ)

○松本正友君(百十一番) 諸君、私ハ是ニ修正ヲ加ヘマスル考デゴザイマス、全體私ノ意見ト申シマスルモノハ、全廢ガ致シタイト云フ考デアルケレドモ、二讀會ノ場合ニ於テハ、ソレハ決シテ出來ナイ、出來ヌコトハナイヤガ、規則ノ上カラ論ズレバ、出來ヤウト思ヒマスガ、是マデノ慣例ニ依テテ此議長ノ四千圓ヲ五千圓トスルト云フノデゴザイマスガ、之ヲ四千百圓ト見マスレバ、二讀會ノ場合ニ於テ全廢ハ出來ヌコトニナッテ居ル、三讀會ニ於テナラバ隨分廢スルコトガ出來ルケレドモ、二讀會デハ出來ヌト云フコトニアリマス、私ハ之ヲ廢スルト云フ精神ヲ以テ、一讀會デ修正ヲ加ヘマス、先づ此議長ノ四千圓ヲ五千圓トスルト云フノデゴザイマスガ、之ヲ四千百圓ト云フコトニスル(笑聲起ル)固ヨリ私ハ此モノハイヤデアル、マルタキリ反對デアルカラサウスル、三讀會ニ於テハ之ヲ矢張四千圓ニスルト云フ意見デアルケレドモガ、是マデノ免角一讀會ノ場合ニ於テハ發言ヲ許サレヌト云フヤウナコトガアルカラ(「無用タ々」ト呼フ者アリ)無用デナイ、發言ノ權ハ僕ガ得テ居ル、ナンボ無用ト仰シヤッテモ、私ノ述べルコトダケハ、之ヲ述べナケレバ、中ミ演壇ハ降ラヌデス、黙々テ御聽キナサイ(「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ)サウシテ副議長ナリ、平議員ナリ、之ヲ現行ノ通ニ一千圓ニ八百圓、是ニ致スト云フ私ガ考デアル、金ヲ百圓ダケ上げテ置ク、是ガ三讀會ニ云フモノモ少カラヌ、其補填ニ附キマシテハ、御承知ノ通地租ヲ増ストカ、或ハ酒ノ稅ヲ増ストカ、醬油稅ヲ増シテ、補填索ト云フモノガ、漸ク通過シタノデアル、此場合ニ當テ政府ハ吾々ノ吾吾議員ガ收入致シマスル所ノ歲費デアル、其歲費ノ增加ヲ提出ヲ爲シ(「無用」ト呼フ者アリ)私ガ熟考ヘテ見マスルニ、成ル程八百圓ノ歲費ハ少ナイトハ言ハヌ(「無用タ々」ト呼フ者アリ)能ク御聽ナサイ、反對ノ御方ハ何程ナリトモ御冷カシナサルガ宜シイ、決シテ此場合ニ增スベキモノデナイ、テ、吾

吾ノ(「ノウノウ」ト呼フ者アリ)何デスカ、私ノ述ベル所ヲ御聽ナサラヌデハ分ラヌ、ナンボ御冷カシナサヌモ、述盡サネバ決シテ此演壇ハ降リハシナイ(「モウ澤山ダ」ト呼フ者アリ)吾々ハ總テノ法律ヲ議定スルノ權ヲ有ツテ居リマス、其議定スル權ヲ有ツテ居ル者ニシテ、片側デハ稅金ヲ増ス、片側デハ己ノ懷中ニ入レル所ノ歲費ヲ増加スルト云フコトハ、最モ嫌フベキコトデゴ

ザイマス(「腹ノ中ヘドウデアル」ト呼フ者アリ)決シテ私共ハコンナ議案ニ持ツテ行ツテ贊成ハ能ク致サンデ、斯ノ如キモノヲ若シ贊成ヲ致シテ、此議會ヲ通過致シマシタ場合ニ於テハ(「選舉區民ニ叱ラレルダラウ」ト呼フ者アリ)我國四千万ノ同胞ハ、ドウ言ヒマセウ、盜人ニ持ツテ行ツテ鍵ヲ渡シタヤウナ思ヒヲスルト思フ、又此事が通過シタ曉ニハ、ドウデアル、總テ諸役ノ給料モ増サネバナラヌト云フヤウナコトニナッテ、本期議會ニ差出シマセヌデモ、次期ノ議會ニ於テハ、左様ナル議案ヲ提出スルカモ知レマセヌ、其場合ニ於テハドウデアル、議會ハ必ズ是ニ持ツテ行ツテ贊成ヲセネバナラヌ、正當ノ議論カラ行ケバ、贊成ヲセラレマシテ、速ニ二讀會ノ場合、私ノ案ニ贊成ヲスル、他ノ給料ヲ増スト云フ上ニハ、反對スルナゾト云フヤウナ、不都合ナルコトデアッテハナラヌ故ニ、私ハ飽クマデモ此議案ニハ反對デアルケレドモ、二讀會ノ場合已ムヲ得マセヌニ附イテ、百圓ダケヲ増シテ置キマス、ドウカ諸君ハ是ニ贊成ヲセラレマシテ、速ニ二讀會ノ場合、私ノ案ニ贊成シテ可決センコトヲ希望致シマス

○恒松隆慶君(九十七番) 論旨ハ盡キテ居ル、討論ヲ要セズト云フコトデアルガ……

○星亨君(二百三十四番) 第一條異議ナシ

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○政府委員會長官平田東助君(演壇ニ登ル)

○政府委員(平田東助君) 唯今此議院法ノ議題中ノ第十九條ノ二項ニ附イテ

一言政府ハ致シテ置キタウゴザイマス、此十九條ノ第二項ニ置イテ「歲費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト云フ「ス」ノ一字ヲ削ッテ「歲費ヲ辭スルコトヲ得」ト云

フコトニ委員會ニ於テ修正ニナリマシタ、然ルニ此「歲費ヲ辭スルコトヲ得」ト云フコトニナリマス、甚ダ本案ノ精神ニ關係ヲ致スコトデゴザイマス(「ノウノウ」ト呼フ者アリ)一體是ハ先刻星君カラモ御辯明ニナリマシタ

ト云フコトニナリマス、故ニ歲費ノ增加ノ一點ニアルトキニアッテハ「歲費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト云フコトニ論及スル場合ニ於テハゴザイマセヌ、故ニ是ハ矢張

現行ノ如ク「歲費ヲ辭スルコトヲ得ス」ト云フコトニナルヤウニ、政府ハ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 松本正友君カラ修正說ガ出マシタガ、是ニハ成規ノ贊成ガナイト認メテ居リマス、第一項カラ採決致シマス、少數ノ意見ハ本案否決デアリマスカラ、原案ニ附イテ採決ヲ致シマス

○議長(片岡健吉君) 原案ノ通御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

〔一四〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第一條ハ原案ノ通決シマス
○菅野善右衛門君(百七十番) 私ハ少數意見ヲ贊成致シマスノデゴザイマス、願ハクハ満場諸君モ……

○星亨君(二百三十四番) 少數意見ニ何が出テ居ル、何モ出テ居ラヌ
○恵松隆慶君(九十七番) 少數意見ハ全部ニ附イテノ少數意見ハナイト思ヒ
○鳩山和夫君(二百七十七番) 反対者ガ少數デアルト云フコトニ附イテハ異議ハナイ
○議長(片岡健吉君) 是ハ議長ノ考デモ既ニ少數意見ガ消滅シテ第二讀會ヲ開クコトニ相成ツタ以上ハ、第一項ニ附テハ御異議ハナイト思ヒマス
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通決シマス、第二項ニ附イテ是ヨリ決ヲ採リマス
○佐藤清君(百六十八番) 修正ノ動議ヲ提出致シマス、十九條ノ第二項ハ削除ヲ致スト云フ修正ノ動議ニアリマス、唯今政府委員ヨリモ説明モアリマシタ通、此歲費ヲ辭退ヲスルト云フコトヲ檢束スルガタメニ第二項ヲ置イタノアリマスケレドモ、委員ノ修正ニ依リマスレハ「辭スルコトヲ得」ト云フコトノ修正ニアリマス、既ニ辭スルコトガ出來ヌト云フ檢束ヲ解キマスル以上ニハ、得ルノ得スノト云フ條項ヲ設クルノ必要ガナインデアリマシテ、勿論此本項ヲ削除致シマスレバ、辭スルコトヲ得ルト云フコトハ、當然ノコトデアル、辭スルト否トハ此議員ノ諸君ニ一任シテ宜シイコトニアリマス、アリマス
ニ任シテ宜イコトデアルカラ、斯ノ如キ曖昧ナル條項ヲ置ク必要ハ決シテナイト思フ、フレ等ノコトハイリマセヌカラレテ、本項ハ削除致スト云フ説デナリマス
〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 百六十八番ノ修正説ニハ、成規ノ賛成ガナイト認メマス
〔「修正通リ賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 委員會ノ修正ニハ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス
○鹽田忠左衛門君(二番) 明治二十年法律第十一號廢止法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ
○議長(片岡健吉君) 鹽田忠左衛門君カラ明治三十年法律第十一號廢止法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ
〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス
○鹽田忠左衛門君(二番) 明治二十年法律第十一號廢止法律案外二件ノ特別委員會ノ報告ヲ致シタイ
○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ第四ニ移リマス、教育基金特別會計法案第一讀會ノ續、委員長ノ報告
〔「星松三郎君演壇ニ登ル〕

第四 教育基金特別會計法案(政府提出 第一讀會ノ續(委員長))

(貴族院送付)

○星松三郎君(二百四十一番) 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、此教育基金特別會計法案外二件ノ報道デゴザイマスガ、大體ヲ申シマスルト、去ル二日ニ委員長及理事ノ互選ヲ致シマシテ、不肖私ガ委員長ニ、理事ハ中辰之助君デゴザイマス、ソレカラ引續キマレテ(恵松隆慶君「簡単ニヤシテ貰ヒマセウ」ト呼フ)去ル四日ニ委員會ヲ開キマシタコトデ、段々質問又ハ審議ヲ盡シマシタ結果、教育基金特別會計法案並ニ軍艦水雷艇補充基金特別會計、災害準備基金特別會計法案、此三案共ニ可決致シマシタコトニアリマス、然ルニ此教育基金ニ對シマシテモ、色ニ質問モゴザイマスシ、且ソ委員ノ一人トシテ希望モゴザイマシテ、其希望ト申シマスルモノハ、矢張會全體テ尤ナリト認メマシテゴザイマスカラ、此段聊カ御報道致シテ置カウト思ヒマス、ソレハ外デハゴザイマセヌガ、此教育基金ノ本旨ハ、普通教育ニ用ヒマスコトニナツテ居リマス、シテ居リマシタ所ノ即チ此基金デゴザイマスル、教育ノ一部ニ是非償金ヲ分ッテ貰ヒタイト云フ請願及建議者ハ、續々來タコトデゴザイマス、ソレ故ニ此教育基金ニ對シテハ、最モ委員會ハ同情ヲ表シマシテ實ニ議論トテハゴザリマセヌガ、唯希望トシテハ此金ヲ今マデノヤウナ使途ニヤラレテハ往カラ、一般ノ人民ニ當ル即チ普通教育ニ十分用ヒルヤウニ致シタイト云フ議

第三讀會

- 論デゴザイマシテ、其希望ハ即チ委員會ノ容ル、所デゴザイマシテ、本會ニモ共意見ヲ述べテ吳レロト云フ發言者ノ請デゴザイマシタ、ソレ故ニ短簡ナガラ委員會ニ於テノ經過ヲ御報道致シマスル次第テゴザイマス、ソレカラ軍艦水雷、是ハ教育基金外一件ト一绪ニ付託ニナリマシタコトデ、矢張關聯シテ相讀シマシタモノデゴザイマスカラ、引續イテ軍艦水雷艇補充基金特別會計法案ノコトヲモ併セテ御報告致シタウゴザイマス
- 降旗元太郎君(二百四十六番)此際鐵道敷設法中改正法律外一件ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス
- 星松三郎君(二百四十二番)此軍艦水雷艇補充基金、即チ償金デ以テ三千萬圓ト云フ基金デゴザイマスガ、是ニ附キマシテモ委員會ニ於キマシテハ、色質問モゴザイマシタガ、要スルニ此軍艦水雷艇補充基金特別會計法案ニ於キマシテモ、贊成デゴザイマシテ、唯質問ガゴザイマシタガ、質問モ詰リ贊成ニ最モ近イモノデゴザイマシテ、別ニ異議モゴザイマセヌノデアリマス(簡短ト呼フ者アリ)是モ全會一致デ可決致シマシク、ソレカラ災害準備基金特別會計法案、最モ満場一致デ決シマシタコトデゴザイマシテ、要スルニ災害準備基金ト、教育基金特別會計法案トノ間柄ニ、教育費ノ方ニ一千五百萬圓災害ノ方ニ五百万圓ト云フ說ガゴザイマシタガ、是ハ折合上原案ノ通デ可決致シマシタコトデゴザイマシテ、其他込入シタ議論ハゴザイマセヌデ、本案ハ通過致シマシタコトデゴザイマス
- 議長(片岡健吉君)御異議ガナケレバ此三案ヲ括シテ議ニ付スルコト、致シマス
- (「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)
- 第五 提出貴族院送付) 第一讀會ノ續
- 第六 災害準備基金特別會計法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續
- 恵松隆慶君(九十七番)讀會省略デ議ニ付セラレンコトヲ望ミマス
- 議長(片岡健吉君)讀會省略ノ動議が出マシタガ、是ニハ御異議ハアリマセヌカ
- (「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)
- 議長(片岡健吉君)ソレデハ讀會ヲ省略致シマス
- 教育基金特別會計法案
災害準備基金特別會計法案
確定議
確定議
- 高木正年君(百四十四番)議長、チヨウト一言シタイ
- 軍艦水雷艇補充基金特別會計法案
確定議
確定議
- 議長(片岡健吉君)格別ノコトデナケレバ、採決シヤウト思ヒマス
- 議長(片岡健吉君)高木君ハ何デスカ
- 高木正年君(百四十四番)委員會ノ意味ガハツキリシマセヌカラ、一言述ベ置キタ
- 議長(片岡健吉君)然ラバ其通ニ致シマス、讀事日程ノ第七、罹災救助基
- 高木正年君(百四十四番)極大事ノコトデゴザイマスカラ
- 議長(片岡健吉君)反對デハアリマスマイ、贊成デセウ

- 高木正年君(百四十四番)政府ノ意味ト違テ居ルコトガアルノデス、贊成ハ贊成デスガ
(「採決タ々」ト呼フ者アリ)
- 議長(片岡健君)贊成ナラバ此際採決シマス、本案ニ附イテ異議ハアリマセヌカ
- 議長(片岡健君)御異議ガナケレバ、原案通決シマス
- 管野善右衛門君(百七十番)定數ノ議員ガナイト私ハ思ヒマス
- 議長(片岡健吉君)此際チヨウト報告ヲ致シマス
- (寺田書記官朗讀)
- 貴族院ヨリ外國人及外國法人ノ物權ノ登記ニ關スル法律案ヲ送付セラレタリ
- 葉煙草專賣法違犯事件ニ關スル法律案
貴族院ヨリ議員ノ選舉及被選舉資格ニ關スル法律案ヲ提出セラレタリ
國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律案
外國人ノ抵當權ニ關スル法律案
- 水難救護法律案
協議委員左ノ通指名セリ
- 刑事訴訟法中改正法律案協議委員
- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 原 田 起 城 君 | 平 岡 萬 次 郎 君 | 西 原 清 東 君 |
| 鳩 山 和 夫 君 | 大 塚 成 吉 君 | 小 倉 信 近 君 |
| 東 良 三 郎 君 | 北 田 豊 二 郎 君 | 丸 山 嶽 峰 一 郎 君 |
| 岡 野 寛 君 | 林 彦 一 君 | 長 坂 重 孝 君 |
| 大 野 龜 三 郎 君 | 大 塚 成 吉 君 | 濱 名 信 平 君 |
| 木 村 豊 太 郎 君 | 北 田 豊 二 郎 君 | 富 永 隼 太 郎 君 |
| 加 藤 六 藏 君 | 林 彥 一 君 | 長 坂 重 孝 君 |
| 室 孝 次 郎 君 | | |
- 議長(片岡健吉君)此際チヨウト御誥リ致シマスガ、大分追加豫算ガアリテ、今豫算委員會ヲ開イテ居リマスガ、之ヲ早ク決シマセヌト、貴族院ニ回シテ貴族院ノ豫算委員會本會ノ手ヲ經ナケレバナラヌ、是マデモ議會ノ會期ノ切迫シタトキハ、午前ニ會議ヲ開イタコトガアリマスカラ、明日ハ午前十時カラ開クコトハ、御異議アリマスマイカ
- (「異議ナシト呼フ者アリ」)
- 議長(片岡健吉君)然ラバ其通ニ致シマス、讀事日程ノ第七、罹災救助基
- 金法案第一讀會ノ續、委員長田中正造君
- 議長(片岡健吉君)然ラバ其通ニ致シマス、讀事日程ノ第七、罹災救助基
- 金法案第一讀會ノ續、委員長田中正造君
- (横山通英君演壇ニ登ル)
- 横山通英君(百五十四番)委員長ガ居ラレマセヌカラ、私ガ代々テ報告致シマス、此罹災救助法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、此委員

會ハ本月三日ニ開キマシテ、委員長理事ノ選舉ヲ致シマシタガ、田中正造君
ガ委員長ニ、不肖私ガ理事ニ當選致シマシタ次第デゴザイマス、サウシマ
シテ引續キ其翌四日ニ委員會ヲ開キマシテ、十分政府委員ニ質問ノ末、本案ハ
満場一致ヲ以テ原案通可決スベキモノト決定シタ次第デアリマスカラ、此段
報告致シマス、ドウカ満場諸君ニ於テモ右様御賛成アランコトヲ希望致シマ
ス

○高須賀穰君(二百七十一番)二十六條ニ往クト沖繩縣ニ施行シナイト云フ
ノデアリマスカ、又北海道ハ此部ニ這入ルノデアリマスカ、這入ラヌノデア
リマスカ

○横山通英君(百五十四番)是ハ唯今委員長モ居リマセヌデアリマスガ、其
コトハ政府委員ニ御質問下スカタ方ガ、能ク判明シヤウト考ヘマス

○高須賀穰君(二百七十二番)唯今ノコトヲ政府委員ニ質問致シマス
○議長(片岡健吉君)永濱政府委員

(政府委員大藏書記官永濱盛三君演壇ニ登ル)

○政府委員(永濱盛三君)御答致シマス、沖繩縣ニハ内地ニ是マデアリマシ
タル備荒儲蓄ト云フ制度モアリマシタシ、餘程内地ト事情ガ異シテ居リマス
カラ、内地ノ備荒儲蓄ノ後ト繼フスベキ此法案ヲ以テ施行スルコトハ出來マ
セヌカラ省キマシタ、北海道ハ此法律ノ名前ニ府縣トアリマス通、道ト云フ
コトハ這入ラテ居ラヌノデ、自然省ケルノデス

○議長(片岡健吉君)本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマスマイカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君)然ラバ二讀會ヲ開クコトニ決シマス、是モ切迫シテ居
リマスカラ、直チニ一讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君)御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

罹災救助基金法案

○横山通英君(百五十四番)讀會省略デ直チニ可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(片岡健吉君)讀會省略ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君)御異議ガナケレバ其通致シマス——本案ニ付イテ御異
議ガアリマセヌケレバ原案ノ通決シマス

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君)然ラバ其通決シマス——次ニ議事日程第八、領事官ノ
職務ニ關スル法律案第一讀會議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第八 領事官ノ職務ニ關スル法律案(政府提出貴族 第一讀會
院送付)

領事官ノ職務ニ關スル法律案

(小字及一ハ
貴族院ノ修正)

第一條 條約中特ニ領事官ノ權限ニ屬セシメタル事項ニ關シテハ法律ニ抵
触セサル範圍ニ於テ命令ヲ以テ其ノ制限ヲ設クルコトヲ得

第二條 條約中領事官ノ職務ニ關シ法律ノ規定ヲ要スル事項ニ付法律ノ規
定ナキトキハ命令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得
第三條 領事官其ノ他本法ニ依リテ職務ヲ行フ者ハ命令及條約ノ規定ニ從
テ其ノ職務ヲ行フヘシ但シ國際法ニ基因スル慣例又ハ駐在地特別ノ慣例
ニ從フコトヲ得
前項ニ依リ難キトキハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四條 外國ニ於ケル施行期日ヲ定メサル法律ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 領事官ノ職務ニ關スル管轄區域ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第六條 條約又ハ慣例ニ因リ領事裁判權ヲ行フコトヲ得ル領事官ハ第七條
乃至第十七條ノ規定ニ從ヒ訴訟事件竝非訟事件ニ關スル事務及登記事務
ヲ行フ

第七條 前條ノ事務ニ關シテハ領事官ハ法令、條約及慣例ニ抵觸セサル範
圍ニ於テ地方裁判所及區裁判所ノ職務ヲ行フ

第八條 領事官ハ重罪ノ公判ヲ爲スコトヲ得ス
輕罪ノ裁判ニ付テハ豫審ヲ須井ス

第九條 領事官ノ豫審ヲ爲シタル重罪ノ公判ハ長崎地方裁判所之ヲ管轄ス
第十條 領事官ノ管轄ニ屬スル刑事ニ關シ國交上必要アルトキハ外務大臣
ハ其ノ事件ヲ管轄スヘカラサルコトヲ領事官ニ命シ且被告人ヲ内國ノ監
獄ニ移送セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ司法大臣ハ其ノ事件地方裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノ
ナルトキハ長崎控訴院檢事ヲシテ裁判管轄指定ノ申請ヲ其ノ控訴院ニ爲
サシメ其ノ事件區裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノナルトキハ長崎地方裁判

所檢事ヲシテ裁判管轄指定ノ申請ヲ其ノ地方裁判所ニ爲サシムヘシ

第十一條 前條ノ申請及裁判ニ關シテハ刑事訴訟法第三十三條ノ規定ヲ準
用ス

第十二條 地方裁判所ノ權限ニ屬スル事項ニ關シ領事官ハシタル裁判ニ
對スル控訴又ハ抗告ハ長崎控訴院之ヲ管轄ス

區裁判所ノ權限ニ屬スル事項ニ關シ領事官ハシタル裁判ニ對スル控訴
又ハ抗告ハ長崎地方裁判所之ヲ管轄ス

第十三條 領事官ハ領事館員又ハ警察官ヲシテ檢事又ハ裁判所書記ノ職務
ヲ行ハシムヘシ

裁判所書記ノ職務ヲ行ハシムヘキ前項ノ官吏ナキトキハ領事官ハ其ノ管
轄區域内ニ在留スル帝國臣民中ヨリ選任シテ臨時其ノ職務ヲ行ハシムル
コトヲ得

第十四條 領事官ハ領事館員又ハ警察官吏ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシム
ヘシ

前項ノ職務ヲ行フ者ハ自己ノ責任ヲ以テ自ラ適當ト認ムル者ニ臨時其ノ
職務ヲ執行スル委任スルコトヲ得

第十五條 法令ノ規定ニ依ルモノヲ除ク外訴訟代理人又ハ辯護人ヲ受クルコトヲ要ス
スル者ハ領事官ノ允許ヲ受クルコトヲ要ス
許可

第十六條 勅常裁判所ニ於ケル忌避又ハ回避ニ關スル規定ハ領事官其ノ他本法ニ依リテ職務ヲ行フ者ニハ之ヲ適用セス

第十七條 第十三條及第十四條ニ掲ケタル職務ヲ行フ者ナキトキハ外務大臣ハ同一國內ノ他ノ領事館官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十八條 領事館ノ設置ナキ地ニ限り勅令ノ規定ヲ以テ本法其ノ他ノ法律中領事又ハ領事官ノ取扱フヘキ事項ハ領事官ニアラサル者ヲシテ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第十九條 本法其ノ他ノ法律中單ニ領事又ハ領事官ト稱スルハ名譽領事二アラサル領事及其ノ代理ヲ謂フ

第二十條 本法施行ノ爲必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 清國竝朝鮮國駐在領事裁判規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止

○早川龍介君(二十八番) 私ハ進行者ノ代理ヲ致シマス、日程ノ第八第十第十二第十四ヘ、各九名ノ委員ヲ議長ノ御指名ヲ直ニ選バレンコトヲ望ミマス

○望月長夫君(十九番) 此第十第十二第十四ノ三ツノ案ハ、性質ガ同ジヤウデゴザイマスカラ、一ノ特別委員デ宜カラウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、第八ヨリ第十五マデヲ一括シテ議題ニ供シマス、早川龍介君望月長夫君ノ動議ニ合セテ御異議ハアリマセヌカ「異議ナシ」ト呼フ者アリ

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 明治二十三年法律第九十號中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 明治二十三年法律第九十一號中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 明治二十九年法律第十號中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

明治二十三年法律第九十號中改正法律案

第五條中第一項ヲ削り第二項ヲ左ノ如ク改ム
退隱料ヲ受クル者左ノ事項ノ一二當ルトキハ其間退隱料ノ支給ヲ停止ス
一 公務ニ就キ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ給料ヲ受クルトキ
二 公權ヲ停止セラレタルトキ

第十條 在職滿一年以上ニシテ退職シタル府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舍監及書記ニハ退職現時ノ俸給半箇月分ヲ以テ在職年數ノ一箇年ニ當テ其年數ニ應スル金員ヲ一時給與ス但非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シタル者ハ本職最終ノ俸給額ニ依リ之ヲ給與ス第三條第四條又ハ第九條ニ依リ退職料ヲ受クル者自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ前項ノ限ニ在ラス本條ノ退職給與ヲ受ケタル者ハ日府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舍監及書記ニ任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ其再任ノ月ヨリ起算ス

第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ
兼職ニ係ル加俸ニ對シテハ本條ノ納金ヲ要セス

第十八條 刪除

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第八條 在職滿一年以上ニシテ退職シタル市町村立小學校正教員ニハ退職現時ノ給料半箇月分ヲ受クル者左ノ事項ノ一二當ルトキハ其間退隱料ノ支給ヲ停止ス
一 公務ニ就キ退職現時ノ給料額以上ノ給料ヲ受クルトキ
二 五年以上受領ヲ怠リタルトキ

三 公權ヲ停止セラレタルトキ
第八條 在職滿一年以上ニシテ其年數ニ應スル金員ヲ一時給與ス但休職滿期ニ依リ退職シタル者ハ其年數ニ應スル金員ヲ一時給與ス本職最終ノ給料額ニ依リ退職料ヲ受クル者自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ前項ノ限ニ在ラス本條第三條又ハ第七條ニ依リ退職料ヲ受クル者自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セ

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者他日市町村立小學校正教員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ其再任ノ月ヨリ起算ス

第十一條中「第四條」ノ下「第一項第二項第五條」ヲ削ル
第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム
前項ノ扶助金ハ在職三年未滿ノ者ニ在テハ本職最終ノ給料一箇月分ニ當ル金員ヲ給シ一年以後滿一年毎ニ給料年額百分ノ二ニ當ル金員ヲ加フ

第十三條中「第八條及」ヲ削ル
第十四條第三項ヲ左ノ如ク改ム
兼職ニ係ル加俸ニ對シテハ本條ノ納金ヲ要セス

同條第四項及第六項中「及第三項」ヲ削ル又第六項中「四分ノ一」ヲ三分ノ一ニ改ム
附則

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

明治二十三年法律第九十一號改正法律案
(貴族院修正)

明治二十三年法律第九十一號中左ノ通改正ス

第十二條第一項第三項第十二條第十四條第一項第十六條第一項第二項中「正教員」ノ下ニ「及舍監。」ヲ加フ
(及書記)

第五條(本文中「第六條」ノ下「及」ヲ削リ「第十一條」ノ下ニ「及第十二條第一項」ヲ加ヘ同様)

退隱料等ノ支給上ニ關スル在職年數ノ算定ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 刪除

第七條中第一項ヲ削リ第二項ヲ左ノ如ク改ム
退隱料ヲ受クル者左ノ事項ノ一二當ルトキハ其間退隱料ノ支給ヲ停止ス

一 公務ニ就キ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ給料ヲ受クルトキ
二 公權ヲ停止セラレタルトキ

第十條 在職滿一年以上ニシテ退職シタル府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舍監及書記ニハ退職現時ノ俸給半箇月分ヲ以テ在職年數ノ一箇年ニ當テ其年數ニ應スル金員ヲ一時給與斯但非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シタル者ハ本職最終ノ俸給額ニ依リ之ヲ給與ス第三條第四條又ハ第九條ニ依リ退職料ヲ受クル者自己ノ便宜ニ依リ退職シタル者又ハ免職ニ處セラレ若クハ失職ニ該當シタル者ハ前項ノ限ニ在ラス本條ノ退職給與ヲ受ケタル者ハ日府縣立師範學校及公立中學校ノ學校長正教員舍監及書記ニ任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ其再任ノ月ヨリ起算ス

第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ
兼職ニ係ル加俸ニ對シテハ本條ノ納金ヲ要セス

第十九條 刪除

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

(貴族院修正)

明治二十九年法律第十三號中左ノ通改正ス
第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ公立實業補習學校ノ

教員ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十條ヲ除キ公立ノ高等女學校專門學校實業學校(實業補習學)及其ノ他ノ公立學校ノ學校長教員及舍監。ニ適用ス

第三條中「正教員」ノ下ニ「及舍監。」ヲ加フ

第四條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第四條ノ二 學校長(府縣立師範學)正教員又ハ舍監。又ハ書記

育事務ニ從事スル文官ト爲リタルトキ若ハ教官其ノ他教育事務ニ從事ス

ル文官タリシ者學校長(府縣立師範學)正教員又ハ舍監。又ハ書記

各其ノ在官在職年數ヲ通算シ明治二十三年法律第九十號及同年法律第九

十一號ノ退隱料扶助料扶助金ヲ受クトヲ得

通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條ノ三 同一人ニシテ國庫ヨリ公立學校職員退隱料又ハ官吏恩給。若

軍人恩給(賑恤金・給助金)及

ハ。公立學校職員遺族扶助料又ハ官吏遺族扶助料ヲ併セ受クヘキ者アル

○法又ハ軍人恩給法ニ依レル扶助
○同一ノ事由ノ爲メトキハ本八ノ所擇ニ任セ其ノ一ヲ給ス

附 則

此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、早川君ト望月君ノ動議ノ通、第八
ハ別ニ九名ノ委員ヲ議長ガ指名シ、第十第十二第十四ハ一括シテ、議長ガ九
名ノ委員ヲ指名スルコトニ致シマス、次ハ議事日程第十六、小學校修身書ニ
關スル建議案、委員長ノ報告

第十六 小學校修身書ニ關スル建議案(安藤龜)

(委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 尚ホ確メテ置キマスガ、早川龍介君ノ別々ニ委員ヲ置
クト云フノハ、望月君ノ二案ヲ同一委員ニ付託スルト云フコトニ御議ニナ
タノアセウカ

○早川龍介君(二十八番) ソレデ宜シウゴザイマス

○安藤龜太郎君(百四十七番) 私ハ小學校修身書ニ關スル建議案審査會ノ結

果ヲ報道致シマス、此委員會ハ二日ノ日ニ委員理事ノ互選ヲ致シマシタ所
ガ、不肖が委員長ニナリマシテ、根本正君ガ理事ニナラレマシテ、ゴザイマス、
其翌日即チ四日ノ日ニ委員會ヲ開キマシテ、其席ニハ即チ委員會ニハ政府委
員即チ柏田次官ノ御出席ガアリマシテ、段々此修身ニ對スル既往竝ニ現在ノ
コトニ附キマシテ、狀況等ヲ悉ク質問ヲ致シマシテゴザイマシタガ、悉ク今
日此修身書ニ於テハ檢定ノ方法等モアルケレドモ、困難デアル、又此教授方

並ニ地方ノ方針等ニ依リテ、區々ニナシテ居ツテ、ドウカ改良シタイト云フ希望デハアルガ、未ダ其效ヲ奏スルコトガ出來ナクシテ、憂慮シテ居ルト云フ答辯ガアリマシタ、種々質問ヲ致シ、種々ノ討論ノ結果、満場一致ヲ以テ可決スルコトニナリマシテゴザイマスカラ、此段御報道致シ、並ニ會期モ切迫シテ居リマスカラ、讀會省略デ本案ヲ直チニ可決セラレントヲ希望致シマス

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案通決シマス、次ニ議事日程ノ第

十七、工藝學校設置ノ建議案、委員長報告

第十七 工藝學校設置ノ建議案(杉田定一君外)

(委員長報告)

(渡邊猶人君演壇ニ登ル)

○渡邊猶人君(百三十七番) 工藝學校設置ノ建議案ニ附キマシテ、委員會ノ

審查ノ結果ヲ御報告致シマス、此委員會ハ二日ニ互選會ヲ開キマシテ、私ガ

委員長、三田村甚三郎君ガ理事ト云フコトニナリマシテゴザイマス、尙ホ四

日ニ審查會ヲ開キマシタノデゴザイマス、先づ此工藝學校ニ於キマシテハ、

之ヲ設置シタイト云フノデゴザイマシテ、畢竟日本ノ工藝ヲ是ヨリ益、盛ニ

シテ、工藝ニ係ル所ノ技術ヲ進歩發達セヤウト云フ意味デ、是マデ諸方ニ

追々此工藝ニ關スル學校モ出來マスルケレドモ、何分不完全デアツテ十分ナ

コトニハ參リマセヌ、因ツテ完全ナル所ノ工藝學校ト云フモノヲレバ、適

當ナル所ノ場所ヲ見立テ、立テタイト云フノ建議デゴザイマス、デ此建議ハ

委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デゴザイマス、此工藝上ノコト

ヲ發達サセルト云フコトニ附キマシテハ、極テ必要ナコト、考ヘマスルデ、

本會ニ於キマシテモ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○門馬尙經君(百六十九番) 過日提出者ノ杉田君ノ御演説デハ、獨逸デハ佛蘭西ト戰爭後此、工藝學校ト云フモノラ大脣獎勵シテ、澤山國內ニ工藝學校

ガ出來タト云フ御話デアリマスガ、我國ニ於テモ名古屋ニモ大阪ニモ京都ニ

モト云フヤウニ、到ル處官立ノ工藝學校ヲ拵ヘテ居ル處ガアルカドウカト云

○渡邊猶人君(百二十七番) 唯今ノ御尋ハ先達テ杉田君ノ演説ノ如ク、各地

ニ之ヲ立テル積デアルカト云フ御尋デスカ

○門馬尙經君(百六十九番) サウデハナイデス、先達テ杉田君ノ御説デハ獨逸デハ佛

蘭西ト戰爭後工藝學校ト云フモノラ獎勵シテ、ソレハ官立ト云フ譯デハナイ

ガ、政府ガ獎勵ヲシテ立テタト云フコトデアル、ソレデ私ノ考デハ補助ヲシ

タラ宜カラウト思フ、方々ニ官立ノ學校ヲ設ケルコトガ出來レバ宜ケレド

モ、大阪ニ立テレバ京都カラモ請求ヲシ、又石川縣ノ九谷燒、或ハ福井ノ羽

二重トカ、到ル所請求ヲシテ來ル、建議案ハ無責任ニ建議ヲスルナラ宜イケ

レドモ、苟モ責任ヲ有テ建議ヲスル以上ハ、ソレ等ノ目的ガナケレバナラナ

イ、ソレデ獎勵ヲスルノハ宜イケレドモ、何處ニテモ官立ノ工藝學校ヲ設ケルト云フコトハ、ドウ云フモノカ出來ルナラバ宜イケレドモ、ソレガ出來ルヤ否ヤ、外國杯ニハ官立ノ學校ガ何處ニテモ立ツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ伺ロタインデアリマス

○渡邊猶人君(百三十七番) 唯今ノ御尋ハ分リマシタガ、外國ノコトハ汎ク私ハ知リマセヌガ、既ニ獨逸アタリデハ之ヲ獎勵シテ、各處ニ此工藝學校ヲ興シタト云フコトハ承リマシタガ、官費ヲ立ツテアルカ、ドウシテアルカ、ソレハ分リマセヌ、併シ此建議案ニ附キマシテモ續々俄ニ之ヲ立テルト云フ

意味デハナイ、ドウカ政府ニ於テソレダケノ方針ヲ執ツテ、順次其歩ヲ進メテ行カレタイト云フノデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 採決ヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、本案ハ可決致シマスノト認メマ

○望月長夫君(十九番) 私ハ此十八ヨリ二十四マデヲ一度ニ議題ニ供シテ、斯中ノ十九、二十、二十一、此三ツハ重罪控訴豫納金ノ委員が出來テ居リマスカラ、其委員ニ付託スルコトニシテ、其他ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトヲ希望致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 今望月長夫君ノ動議ニ御異議ハアリマスマイカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第十八 裁判所構成法中改正法律案(花井卓藏君外十四名提出)

第十九 明治二十三年法律第七號重罪控訴豫納金規則廢止法律案(山田武君外八名提出)

第二十 律案(山田武君外八名提出) 明治十八年第一號布告輕罪控訴規則廢止法

第二十一 律案(山田武君外八名提出) 明治十九年勅令第四十六號罰金及追徵ニ係ル上告豫納金廢止法律案(山田武君外六名提出)

第二十二 刑法中改正法律案(根本正君外四名提出) 明治十九年勅令第四十六號罰金及追徵ニ付託ス

第二十三 官國幣社經費復舊建議案(大津淳一郎君外四名提出) 明治二十三年法律第七號重罪控訴豫納金規則廢止法律案

第二十四 裁判所構成法中改正法律案(西村淳藏君外一名提出) 明治二十三年法律第六號裁判所構成法中左ノ通改正ス

第二十五 第百二十一條上告裁判ヲ除ク外判事ノ評議ハ之ヲ公行セス但シ豫備判事及試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得
判事ノ評議ハ其裁判長之ヲ開キ且之ヲ整理ス公行セサル判事ノ評議竝ニ各判事ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ祕密ヲ守ルコトヲ要ス

明治二十三年法律第七號重罪控訴豫納金規則廢止法律案

明治十九年勅令第四十六號罰金及追徵ニ係ル上告豫納金廢止法律案(明治十九年第二號布告ヲ廢止ス)

明治十八年第二號布告ヲ廢止ス

刑法中改正法律案

明治二十三年勅令第二百五號小學校令中改正建議案(明治二十三年勅令第二百三十二條官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽章帝國議會議員ノ旅費退隱料ハ府縣ノ負擔トシ其ノ金額及支給方法ハ府縣會ノ議決ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ムヘキモノトナサムコトヲ望ム

右建議ス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、其通決シマス

○磯田和藏君(九番) 重罪控訴豫納金ニ關スル委員會ヲ開キタウゴザイマス、ドウカ例ニ依ツテ御許ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 今磯田和藏君カラ、重罪控訴豫納金規則廢止法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○早川龍介君(二十七番) 二十二ト二十四ハ、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シタウゴザイマス

〔其通ニナツテ居ル〕ト呼フ者アリ

○藤金作君(百一十六番) 二十三ニ對シマシテ、チヨット建議ノ理由ヲ説明致シタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 日程ノ二十二ト二十四ノ委員ハ議長ガ指名スルコトニナツノデアリマス、ソレカラ明日ノ時刻ト議事日程ハ、書面ヲ以テ御通知スルコトニ致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後四時三十一分散會